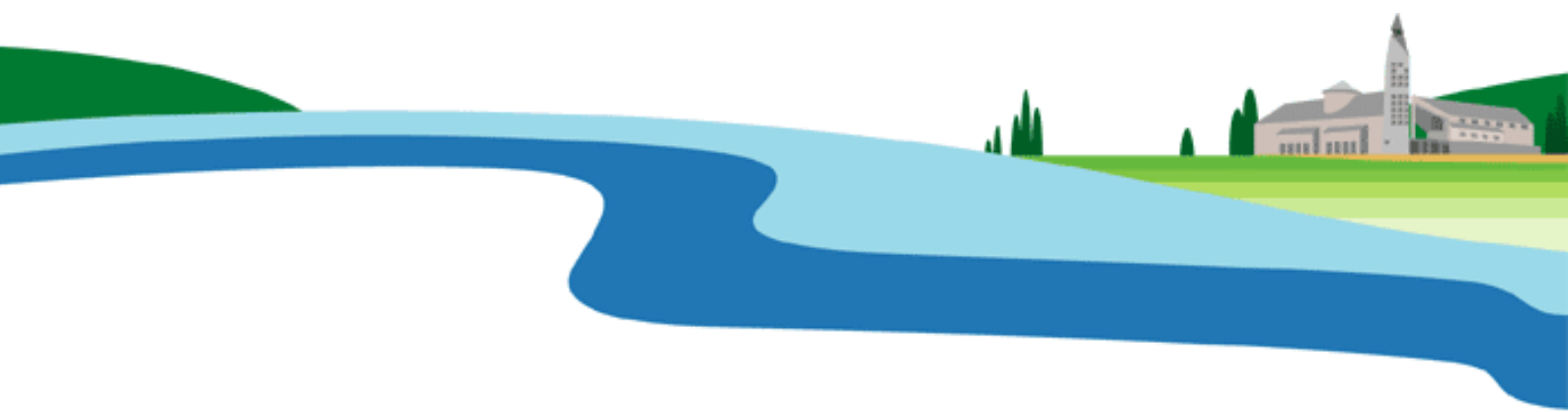




滋賀県立大学 2016年度 講義概要 (シラバス)

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) でご確認ください。

目 次

1110011	英語	A (活性化コース)	(環境)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	1
1110012	英語	B (活性化コース)	(環境)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	3
1110021	英語	A (活性化コース)	(環境)	渡 寛法	前期	・ ・ ・	5
1110022	英語	B (活性化コース)	(環境)	渡 寛法	後期	・ ・ ・	7
1110031	英語	A (活性化コース)	(環境)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	9
1110032	英語	B (活性化コース)	(環境)	Karl Hedberg	後期	・ ・ ・	11
1110041	英語	A (活性化コース)	(環境)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	13
1110042	英語	B (活性化コース)	(環境)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	15
1110051	英語	A (活性化コース)	(環境)	北島 美咲	前期	・ ・ ・	17
1110052	英語	B (活性化コース)	(環境)	北島 美咲	後期	・ ・ ・	19
1110061	英語	A (活性化コース)	(環境)	吉田 亞矢	前期	・ ・ ・	21
1110062	英語	B (活性化コース)	(環境)	吉田 亞矢	後期	・ ・ ・	23
1110221	英語	A (応用コース)	(環境)	Graham Jones	前期	・ ・ ・	25
1110222	英語	B (応用コース)	(環境)	Graham Jones	後期	・ ・ ・	27
1110231	英語	A (応用コース)	(環境)	Ashley Mark Stevens	前期	・ ・ ・	29
1110232	英語	B (応用コース)	(環境)	Ashley Mark Stevens	後期	・ ・ ・	31
1110241	英語	A (応用コース)	(環境)	岡本 マイケル	前期	・ ・ ・	33
1110242	英語	B (応用コース)	(環境)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	35
1110251	英語	A (応用コース)	(環境)	Graham Jones	前期	・ ・ ・	37
1110252	英語	B (応用コース)	(環境)	Graham Jones	後期	・ ・ ・	39
1110261	英語	A (応用コース)	(環境)	Alan Neill	前期	・ ・ ・	41
1110262	英語	B (応用コース)	(環境)	Alan Neill	後期	・ ・ ・	43
1110271	英語	A (応用コース)	(環境)	Gordon Maclaren	前期	・ ・ ・	45
1110272	英語	B (応用コース)	(環境)	Gordon Maclaren	後期	・ ・ ・	47
1110421	英語	A (充実コース)	(環境)	市場 史哉	前期	・ ・ ・	49
1110422	英語	B (充実コース)	(環境)	市場 史哉	後期	・ ・ ・	51
1110431	英語	A (充実コース)	(環境)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	53
1110432	英語	B (充実コース)	(環境)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	55
1110441	英語	A (充実コース)	(環境)	真田 満	前期	・ ・ ・	57
1110442	英語	B (充実コース)	(環境)	真田 満	後期	・ ・ ・	59
1110451	英語	A (充実コース)	(環境)	Ashley Mark Stevens	前期	・ ・ ・	61
1110452	英語	B (充実コース)	(環境)	Ashley Mark Stevens	後期	・ ・ ・	63
1110461	英語	A (充実コース)	(環境)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	65
1110462	英語	B (充実コース)	(環境)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	67
1110471	英語	A (充実コース)	(環境)	岡本 マイケル	前期	・ ・ ・	69
1110472	英語	B (充実コース)	(環境)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	71
1110631	英語	A (展開コース)	(環境)	渡 寛法	前期	・ ・ ・	73
1110632	英語	B (展開コース)	(環境)	渡 寛法	後期	・ ・ ・	75
1110641	英語	A (展開コース)	(環境)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	77
1110642	英語	B (展開コース)	(環境)	村上 幸太郎	後期	・ ・ ・	79
1110651	英語	A (展開コース)	(環境)	吉田 亞矢	前期	・ ・ ・	81
1110652	英語	B (展開コース)	(環境)	吉田 亞矢	後期	・ ・ ・	83
1110661	英語	A (展開コース)	(環境)	坂元 敦子	前期	・ ・ ・	85
1110662	英語	B (展開コース)	(環境)	坂元 敦子	後期	・ ・ ・	87
1110671	英語	A (展開コース)	(環境)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	89
1110672	英語	B (展開コース)	(環境)	村上 幸太郎	後期	・ ・ ・	91
1110681	英語	A (展開コース)	(環境)	渡 寛法	前期	・ ・ ・	93
1110682	英語	B (展開コース)	(環境)	渡 寛法	後期	・ ・ ・	95
1130010	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境a)	山本 洋紀	前期	・ ・ ・	97	
1130020	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境b)	亀田 彰喜	前期	・ ・ ・	99	
1130030	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境c)	山本 洋紀	前期	・ ・ ・	101	
1130040	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(環境d)	亀田 彰喜	前期	・ ・ ・	103	
1130140	情報科学概論 (環境a)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	105		
1130150	情報科学概論 (環境b)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	107		
1130160	情報科学概論 (環境c)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	109		
1130170	情報科学概論 (環境d)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	111		
1150050	環境行動論	迫田 正美	前期	・ ・ ・	113		
1150300	人間探求学 (環境政策・計画)	学科教員	前期	・ ・ ・	115		
1200050	G I S演習	香川 雄一	後期	・ ・ ・	117		
1200090	イベント計画演習	佐々木 和之	後期	・ ・ ・	119		
1200100	イベント計画論	佐々木 和之	後期	・ ・ ・	121		
1200101	イベント計画論・演習	佐々木 和之	後期	・ ・ ・	123		
1200102	環境政策デザイン論・演習	佐々木 和之	後期	・ ・ ・	125		
1200120	エコロジー経済学	村上 一真	後期	・ ・ ・	127		
1200150	応用数学	井手 慎司	後期	・ ・ ・	129		
1200160	応用統計学	岩見 麻子	前期	・ ・ ・	131		
1200170	応用統計学	村上 一真	後期	・ ・ ・	133		
1200300	環境アセスメント	錦澤 滋雄	前期集中	・ ・ ・	135		
1200310	環境アセスメント演習	学科教員	後期	・ ・ ・	137		
1200330	環境会計	藤近 雅彦	前期	・ ・ ・	139		
1200370	環境化学	丸尾 雅啓	前期	・ ・ ・	141		
1200390	環境科学概論	小泉 尚嗣	前期	・ ・ ・	143		
1200400	環境科学概論	伊丹 清	後期	・ ・ ・	145		
1200440	環境学原論	村上 修一	後期	・ ・ ・	147		
1200480	環境監査	池北 實	前期集中	・ ・ ・	149		

1200550	環境経営論 高橋 卓也 後期	151
1200560	環境計画学 未定* 後期	153
1200571	環境経済演習 林 宰司 後期	155
1200580	環境経済学 林 宰司 後期	157
1200581	環境経済学入門 高橋 卓也 前期	159
1200582	環境財政 村上 一真 後期	161
1200620	環境シミュレーション 井手 慎司 後期	163
1200630	環境社会学 關野 伸之 後期	165
1200645	環境情報 未定* 後期	167
1200661	環境心理学 佐々木 和之 前期	169
1200662	社会心理学(環境政策・計画) 佐々木 和之 前期	171
1200665	環境水文学 大久保 卓也 前期	173
1200700	環境政策学 上河原 献二 後期	175
1200770	環境生物学 浦部 美佐子 後期	177
1200890	環境地球科学 堂満 華子 前期	179
1200960	環境フィールドワーク 学部教員 前期	181
1200970	環境フィールドワーク 学部教員 前期	183
1200980	環境フィールドワーク 学部教員 通年集中	185
1200990	環境物理学 小泉 尚嗣 後期	187
1201039	環境法 上河原 献二 前期	189
1201040	環境法 上河原 献二 前期	191
1201060	環境マネジメント演習 高橋 卓也 前期	193
1201080	環境倫理学 土屋 正春 前期	195
1201085	環境公正論 土屋 正春 前期	197
1201110	基礎数学 山崎 惣治郎 前期	199
1201120	基礎数学 山崎 惣治郎 後期	201
1201130	基礎統計 金谷 健 前期	203
1201160	景観計画 村上 修一 後期	205
1201170	経済学 林 宰司 後期	207
1201180	経済学 (国際経済を含む) 村上 一真 前期	209
1201320	合意形成支援技法 金谷 健 後期	211
1201330	合意形成支援技法演習 金谷 健 後期	213
1201331	合意形成支援技法・演習 金谷 健 後期	215
1201380	国際環境資源論 高橋 卓也 後期	217
1201410	コミュニティ計画論 芦澤 竜一 前期	219
1201465	サステナブルデザイン論 芦澤 竜一 前期	221
1201470	資源経済学 高橋 卓也 前期	223
1201510	持続可能社会論 高橋 卓也 前期	225
1201550	市民参加論 佐々木 和之 前期	227
1201560	社会学 座主 果林 前期	229
1201610	社会システム分析設計 和田 有朗 後期	231
1201620	社会システム分析設計演習 和田 有朗 後期	233
1201621	社会システム分析設計・演習 和田 有朗 後期	235
1201630	社会調査実習(環境政策) 和田 有朗 通年	237
1201790	森林環境学 野間 直彦 前期	239
1201930	政策計画演習 学科教員 前期	241
1201940	政策計画演習 学科教員 後期	243
1201950	政策計画演習 学科教員 前期	245
1201960	政策計画演習 学科教員 後期	247
1201961	政策計画基礎演習 学科教員 前期	249
1201962	政策計画基礎演習 学科教員 後期	251
1201970	政策形成・施設演習 学科教員 後期	253
1201980	政治学 望月 詩史 前期	255
1201990	政治学 (国際政治を含む) 望月 詩史 後期	257
1202440	卒業研究(環境政策・計画) 学科教員	259
1202441	卒業研究 (環境政策・計画) 学科教員	261
1202442	卒業研究 (環境政策・計画) 学科教員	263
1202550	地域開発論 平山 奈央子 前期	265
1202580	地域環境政策論 香川 雄一 前期	267
1202610	地域再生システム論 鷗飼 修 前期集中	269
1202640	地域システム論 和田 有朗 前期	271
1202660	地域調査法 香川 雄一 前期	273
1202670	地域調査法演習 香川 雄一 後期	275
1202710	地球環境システム論 松本 健一 後期	277
1202750	動物生態学 高倉 耕一 後期	279
1202950	廃棄物管理論 金谷 健 前期	281
1203050	ファシリテーション技法 平山 奈央子 後期	283
1203060	ファシリテーション技法演習 平山 奈央子 後期	285
1203061	ファシリテーション技法・演習 平山 奈央子 後期	287
1203110	法学概論(国際法を含む) 坂田 雅夫 前期	289
1203150	水環境政策論 井手 慎司 前期	291

講義名	英語 A（活性化コース）（環境 ）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110011	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力がつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト（筆記式）を毎回行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	BEYOND THE BASICS OF THE TOEIC(R) TEST	塚田幸光、Braven Smillie	金星堂	978-4-7647-3978-9
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業で配布したプリント並びに使用した音声はアスポにて配布。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境 ）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110012	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト（筆記式）を毎回行います。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます（出席回数はお知らせしません）。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	BEYOND THE BASICS OF THE TOEIC(R) TEST	塚田幸光、Braven Smillie	金星堂	978-4-7647-3978-9
2				
3				

必ず購入のこと。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業で配布したプリント並びに使用した音声はアスポにて配布。

前提学力等

履修資格

講義名	英語　A（活性化コース）（環境　）					担当教員	渡　寛法
講義コード	1110021	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- （１）TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。（２）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（３）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標（１）に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します（40％）。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標（２）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（30％）、到達目標（３）に関しては、各回の小テストで評価します（30％）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEICR TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ（スマートフォンでも計測機能があればOK）を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境 ）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110022	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- （１）TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。（２）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（３）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標（１）に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します（40％）。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標（２）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（30％）、到達目標（３）に関しては、各回の小テストで評価します（30％）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEICR TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（環境 ）					担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110031	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境 ）					担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110032	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking
25% Mid-term Writing test.
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（環境 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110041	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
3. TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30%	リスニングに関するレポート課題15% 語彙に関する小テスト15%
上記以外	20%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEIC テスト超速 英単語	安河内哲也	中経出版	9784806133704
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A（活性化コース）（環境 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110041	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第7回	Housing(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第8回	Housing(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第9回	Employment (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第10回	Employment (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第11回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第12回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第13回	Office (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第14回	Office (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第15回	Finance and Banking (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第16回	Finance and Banking (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第17回	Management (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第18回	Management (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第19回	Transactions (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第20回	Transactions (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第21回	Documents (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第22回	Documents (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第23回	Public Announcements (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第24回	Public Announcements (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第25回	Commuting (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第26回	Commuting (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第27回	Travel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第28回	Travel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また学内TOEIC以降はTOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください

講義名	英語 B（活性化コース）（環境 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110042	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
3. TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30%	リスニングに関するレポート課題15% 語彙に関する小テスト15%
上記以外	20%	授業に参加する積極的な態度（授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど）

半期で4回以上の欠席は評価をしません。

遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。

予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEIC テスト超速 英単語	安河内哲也	中経出版	9784806133704
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身！	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110042	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第7回	Housing(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第8回	Housing(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第9回	Employment (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第10回	Employment (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第11回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第12回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第13回	Office (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第14回	Office (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第15回	Finance and Banking (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第16回	Finance and Banking (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第17回	Management (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第18回	Management (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第19回	Transactions (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第20回	Transactions (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第21回	Documents (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第22回	Documents (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第23回	Public Announcements (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第24回	Public Announcements (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第25回	Commuting (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第26回	Commuting (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第27回	Travel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第28回	Travel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また学内TOEIC以降はTOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください

講義名	英語 A（活性化コース）（環境 ）					担当教員	北島 美咲
講義コード	1110051	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

TOEIC受験を考慮しながら、さまざまなトピックスの英文を読み、既修の知識を定着・活用することを目指します。
 具体的には、英語独特の論理的な文章を読むことで読解力、小テストなどで語彙力、ディクテーションなどにより聞く力、そして、それを踏まえた発信力と、バランス良く基本的な英語の能力を伸ばします。

到達目標

- (1) 語彙を増やす。
- (2) 読解力を向上させる。
- (3) Listening力を向上させる。
- (4) 英語の文章の特徴を理解することができる。
- (5) TOEICのスコアをあげる。(各人の最初のスコアによるが、100ポイント程度アップを目指しましょう。)

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1) について、選択問題及び記述問題を行う。(20%) 到達目標(2) について、選択問題を行う。(10%) 到達目標(3) について、選択問題を行う。(10%)
レポート課題	0	
上記以外	35	到達目標(1) について、小テストを行う。(25%) 到達目標(1) (5)について、課題など適宜出題する。(10%)

授業回数の3分の1より多く欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

小テストはVocabulary Quizzesごとに行う予定です。宿題は適宜お知らせします。
 進み具合により、変更することがあります。ご了承ください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2	A Shorter Course in TOEIC Test Vocabulary Quizzes	佐藤誠司	南雲堂	9784523176671
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境 ）					担当教員	北島 美咲
講義コード	1110052	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

TOEIC受験を考慮しながら、さまざまなトピックスの英文を読み、既修の知識を定着・活用することを目指します。
具体的には、英語独特の論理的な文章を読むことで読解力、小テストなどで語彙力、ディクテーションなどにより聞く力、そして、それを踏まえた発信力と、バランス良く基本的な英語の能力を伸ばします。

到達目標

- (1) 語彙を増やす。
- (2) 読解力を向上させる。
- (3) Listening力を向上させる。
- (4) 英語の文章の特徴を理解することができる。
- (5) TOEICのスコアをあげる。(各人の最初のスコアによるが、100ポイント程度アップを目指しましょう。)

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1) について、選択問題及び記述問題を行う。(20%) 到達目標(2) について、選択問題を行う。(10%) 到達目標(3) について、選択問題を行う。(10%)
レポート課題	0	
上記以外	35	到達目標(1) について、小テストを行う。(25%) 到達目標(1) (5)について、課題など適宜出題する。(10%)

授業回数の3分の1より多く欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

小テストはVocabulary Quizzesごとに行う予定です。宿題は適宜お知らせします。
進み具合により、変更することがあります。ご了承ください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2	A Shorter Course in TOEIC Test Vocabulary Quizzes	佐藤誠司	南雲堂	9784523176671
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　A（活性化コース）（環境　）					担当教員	吉田　亞矢
講義コード	1110061	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業概要

本授業は、『シャレード』（1963年、アメリカ）の鑑賞を通じて、英語ならびに英語圏以外の言語や文化についての理解を深めると同時に、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEICの問題形式に慣れることを主眼とする。TOEICで高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知らうで参考かつ励みとなる。パリを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。また、どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、登場人物たちの台詞を練習・録音し、英語の美しいリズムと機能に富む表現を体得する。

到達目標

- (1) 本編の前半部分の見所を字幕なしで鑑賞する
- (2) TOEICや本編に関する課題に、ペアまたはグループで協調して取り組み、解答を導く
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (1) について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (2) について、到達度確認テストを 2 回行い、全体の30%として評価。 到達目標 (3) について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

< 出席について >

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく 4 回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は 3 回で欠席 1 回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	名作映画でTOEIC (2) めざせ！ 500 シャレード	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66029-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	シャレード (名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 憲三	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074309
2	名作映画で英会話 3 シャレード	藤田 英時	宝島社	978-4796658249
3				

前提学力等

< 辞書について >

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語 B（活性化コース）（環境 ）					担当教員	吉田 亜矢
講義コード	1110062	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG102						

授業概要

本授業は、『シャレード』（1963年、アメリカ）の鑑賞を通じて、英語ならびに英語圏以外の言語や文化についての理解を深めると同時に、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEICの問題形式に慣れることを主眼とする。TOEICで高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知るうえで参考かつ励みとなる。パリを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。また、どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、登場人物たちの台詞を練習・録音し、英語の美しいリズムと機知に富む表現を体得する。

到達目標

- (1) 本編の後半部分の見所を字幕なしで鑑賞する
- (2) TOEICや本編に関する課題に、ペアまたはグループで協調して取り組み、解答を導く
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (1) について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (2) について、到達度確認テストを 2 回行い、全体の30%として評価。 到達目標 (3) について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

< 出席について >

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく 4 回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は 3 回で欠席 1 回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	名作映画でTOEIC (2) めざせ！500 シャレード	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66029-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	シャレード (名作映画完全セリフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 憲三	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074309
2	名作映画で英会話 3 シャレード	藤田 英時	宝島社	978-4796658249
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

前提学力等

< 辞書について >

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（環境 ）					担当教員	Graham Jones
講義コード	1110221	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Picture Test (4 pictures, each 25%). Each Speaking Objective is worth 25%. Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in four Action English pictures (from the textbook) that we studied in the class.

授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying the Action English Pictures from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（応用コース）（環境）					担当教員	Graham Jones
講義コード	1110222	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Conversation Performance. Read aloud one of the Conversations we studied in class (from the textbook). Each Speaking Objective is worth 25%.

授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying a Conversation from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（環境 ）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110231	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final conversation test and a final writing test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Teacher supplied material.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（応用コース）（環境 ）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110232	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final presentation. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Teacher supplied material.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（環境 ）					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110241	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（応用コース）（環境 ）					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110242	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 2		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3036-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（環境 ）					担当教員	Graham Jones
講義コード	1110251	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Picture Test (4 pictures, each 25%). Each Speaking Objective is worth 25%. Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in four Action English pictures (from the textbook) that we studied in the class.

授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying the Action English Pictures from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（応用コース）（環境　）					担当教員	Graham Jones
講義コード	1110252	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Conversation Performance. Read aloud one of the Conversations we studied in class (from the textbook). Each Speaking Objective is worth 25%.

授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying a Conversation from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（環境 ）					担当教員	Alan Neill
講義コード	1110261	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students read aloud their class work to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life. English with, good pronunciation, fluency and good delivery, produce the required quantity of speech, class material such as vocabulary and sentence patterns..

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Worksheets as a speaking test.
レポート課題	25%	Worksheets as a writing test.
上記以外	50%	Radio Show, students interview.

授業外学習

Homework: One hour a week. Practice what text was written from worksheets.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Worksheets			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（応用コース）（環境　）					担当教員	Alan Neill
講義コード	1110262	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students read aloud their class work to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life. English with, good pronunciation, fluency and good delivery, produce the required quantity of speech, class material such as vocabulary and sentence patterns..

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Worksheets as a speaking test
レポート課題	25%	Worksheets as a writing test.
上記以外	50%	Radio Show, students interview.

授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Practice what text was written from worksheets.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Worksheets			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（応用コース）（環境 ）					担当教員	Gordon MacIaren
講義コード	1110271	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3rd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times. In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the instructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total) Pairs rewrite 75-90% of a 'new' scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（応用コース）（環境　）					担当教員	Gordon MacIaren
講義コード	1110272	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	101ENG104						

授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（環境 ）					担当教員	市場 史哉
講義コード	1110421	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各Unitのリスニング問題を行う。 確認テスト 30%

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
確認テスト、期末テストまでにDVDを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	ABC World News 18	Shigeru Yamane	金星堂	978-4-7647-4014-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（環境 ）					担当教員	市場 史哉
講義コード	1110422	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

イギリスのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各ユニットのリスニング問題を行う。 確認テスト 30%

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。
確認テスト、期末テストまでにDVDを使って復習をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Seeing the World through the News 3	Timothy Knowles	金星堂	978-4-7647-4015-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（環境）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110431	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（環境 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110431	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて

講義名	英語 B（充実コース）（環境）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110432	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（環境 ）					担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110432	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ
担当者から一言		
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて		

講義名	英語 A（充実コース）（環境 ）					担当教員	真田 満
講義コード	1110441	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

文化、社会問題、科学など様々な分野のエッセイを読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読み、ビデオ教材を聞くという受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書く、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Reading Explorer 1	Nancy Douglas, David Bohlke	Cengage	9781285846859
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（環境 ）					担当教員	真田 満
講義コード	1110442	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

文化、社会問題、科学など様々な分野のエッセイを読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読み、ビデオ教材を聞くという受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書く、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Reading Explorer 1	Nancy Douglas, David Bohlke	Cengage	9781285846859
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（環境 ）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110451	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Written Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語　B（充実コース）（環境　）					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110452	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Writing Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（環境 ）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110461	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになったの演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストを毎回実施します。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

到達目標

(1) 語彙力の向上、(2) リスニング力の向上、(3) 読解力の向上、(4) 英語での思考力の向上、(5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等 (1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます (出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント並びにPDFで配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（環境 ）					担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110462	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになったの演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストを毎回実施します。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

到達目標

(1) 語彙力の向上、(2) リスニング力の向上、(3) 読解力の向上、(4) 英語での思考力の向上、(5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等 (1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます (出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント並びにPDFで配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（充実コース）（環境 ）					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110471	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 2		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3036-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（充実コース）（環境 ）					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110472	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（環境）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110631	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- （１）TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。（２）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（３）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標（１）に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します（40％）。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標（２）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（30％）、到達目標（３）に関しては、各回の小テストで評価します（30％）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEICR TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ（スマートフォンでも計測機能があればOK）を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰（監修）	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110632	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEICR TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰（監修）	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（環境 ）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110641	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

この授業では、文法、リーディング、リスニングの能力を問題演習によって総合的に高めることを目的とする。毎回現在完了形や仮定法、比較構文などの特定の文法事項がフォーカスされているので、体系的に英語を学びつつ、後期のTOEIC対策に備えてもらいたい。また、英語での1分間スピーチも毎回行うので、スピーキングの練習も日常的に行ってもらうことになる。

到達目標

- (1) TOEICに必要な文法知識・読解力・聞き取り能力の基礎力をつける
- (2) 単語テストを通じて語彙を増強する
- (3) スピーチなどの練習を通じて積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	出題範囲は教科書で学習した内容を中心とする。評価基準の詳細は下に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	単語テストの平均点...10点 中間まとめテスト...20点 授業への貢献度...30点

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

授業外学習

- ・毎回冒頭で単語テストを実施するので、新出単語は事前に覚えておくこと(リストは毎回こちらで準備します)。
- ・Grammar Sectionの問題、Reading Sectionの文章はあらかじめ予習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総合英語パワーアップ(中級編)	JACETリスニング研究会	南雲堂	978-4-523-17716-6
2				
3				

基本的に教科書の内容をすべて網羅するが、中間テストの結果を見て文法・読解・リスニングのうち特定の分野を重点的に取り組む場合もある。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境 ）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110642	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

前期授業の様子を見て教科書を決定しますので、後期授業開始前にもう一度シラバスをご参照ください。

到達目標

教科書決定後にお知らせします。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110642	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

[illegible]

講義名	英語 A（展開コース）（環境 ）					担当教員	吉田 亜矢
講義コード	1110651	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

文理の如何に関わらず、TOEICに慣れ親しみ、高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知るうえで参考かつ励みとなる。本授業では、TOEICのテスト形式を十全に理解するとともに、オーバーラッピングやシャドーイングなどの音読訓練法を積極的に導入し、発音の強化を目指す。前期は特にオーバーラッピングの練習を習慣づける。毎回授業冒頭で、予復習状況を確認するための小テストが実施される。ペアでの音読練習、TOEIC問題の解答作業や、各ユニットのテーマに関連した映画のワンシーンを参考に会話練習を行ったりするため、受講者の積極的な授業参加が必要不可欠となる。また語彙力増強のため、隔週で単語帳作成の課題が出され、前期中2回提出する。

到達目標

- (1) オーバーラッピングの練習を行う習慣を身につけ、英語らしいリズム・発音に慣れる
- (2) 予習・復習の習慣を定着させ、専門分野やビジネス関連の語彙・表現力を習得
- (3) TOEICの性質を十分に理解し、制限時間内に正答率の高い解答を導く

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (3) について、期末テスト(40%)で評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (1) について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標 (2) について、各回的小テスト(20%)および単語帳作成課題提出(10%)にて全体の30%として評価。

<出席について>
授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

授業の入念な復習・予習が毎回宿題として課される。その際、オーバーラッピングやシャドーイングの技法を用いること。授業冒頭に実施する小テストは、通常前回授業の内容と単語帳から出題される語彙・表現理解テストである。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEIC Test: On Target Book 2	大賀 リエ	南雲堂	4-523-17672-5
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

<辞書について>
外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語　B（展開コース）（環境　）					担当教員	吉田　亜矢
講義コード	1110652	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

文理の如何に関わらず、TOEICに慣れ親しみ、高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知るうえで参考かつ励みとなる。本授業では、TOEICのテスト形式を十全に理解するとともに、オーバーラッピングやシャドーイングなどの音読訓練法を積極的に導入し、発音の強化を目指す。後期は特にシャドーイングの練習を習慣づける。毎回授業冒頭で、予復習状況を確認するための小テストが実施される。ペアでの音読練習、TOEIC問題の解答作業や、各ユニットのテーマに関連した映画のワンシーンを参考に会話練習を行ったりするため、受講者の積極的な授業参加が必要不可欠となる。また語彙力増強のため、隔週で単語帳作成の課題が出され、後期中2回提出する。

到達目標

- (1) シャドーイングの練習を行う習慣を身につけ、英語らしいリズム・発音に慣れる
- (2) 予習・復習の習慣を定着させ、専門分野やビジネス関連の語彙・表現力を習得
- (3) TOEICの性質を十分に理解し、制限時間内に正答率の高い解答を導く

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (3) について、期末テスト (30%) および12月に学内で実施されるTOEIC IP試験結果 (10%) で評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (1) について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標 (2) について、各回的小テスト (20%) および単語帳作成課題提出 (10%) にて全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

授業外学習

授業の入念な復習・予習が毎回宿題として課される。その際、オーバーラッピングやシャドーイングの技法を用いること。授業冒頭に実施する小テストは、通常前回授業の内容と単語帳から出題される語彙・表現理解テストである。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEIC Test: On Target Book 2	大賀 リエ	南雲堂	4-523-17672-5
2				
3				

前期と同様の教科書を用いる。後期の初回授業でテキストを使うため、忘れずに持参すること。なお、後期から受講する場合も、必ず新しいものを

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（環境 ）					担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110661	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要						
この授業ではノーベル賞受賞スピーチを扱ったテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。扱うスピーチは2014年の受賞者によるもので、特に教育問題や世界のさまざまな問題に関する話題が中心である。このため、スピーチに関連する本やサイトを調べて必要な情報を集めたり、その結果や自分の意見を英語で発表したりするアクティビティもある。なお授業では実際のスピーチを映像により毎回確認し、話者の抑揚や表情、間など聴衆に訴えかけるための工夫についても考える。このテキスト以外に、Japan Timesのニュース記事、科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。 授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。						

到達目標						
(1) テキスト等の英文について、背景を含め正確に理解する。 (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。 (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。 (4) 自分の意見やリサーチ結果を英語で発表できる。						

成績評価						
種別	割合 (%)	評価基準等				
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。				
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。				
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。				

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習						
必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。						

教科書				
No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	Learn English through Malala's Speeches	坂元敦子ほか	英光社	
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書				
No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	I an Malala	Malala Yousafzai	Back Bay Books	9780316377560
2	私はマララ	マララ・ユスフザイ	学研	978-4054058460
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等						
履修資格						

講義名	英語 B（展開コース）（環境 ）					担当教員	坂元 敦子
講義コード	1110662	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

この授業では観光英語のテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。このテキストでは出入国や機内英語、現地に到着してから必要となるホテルや交通手段、レストランや大学訪問等、実際に役立つスキットが数多く紹介されているので、そのシーンを思い浮かべながらペアワークやグループワークでアクティビティを行う。なお授業では関連する航空会社や鉄道会社、レストランやホテル、銀行等のサイトも扱うので、これらを各自で事前に調べたり内容を発表したりする作業も必要となる。このテキスト以外に、Japan Timesからのニュース記事や科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。またTOEICに出題される旅行や観光関連の問題をピックアップして授業内で問題に取り組む。

授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

到達目標

- (1) テキストの英文について、背景を含め正確に理解する。
- (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。
- (5) 自分の意見や課題を英語で発表できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。 TOEICのスコアをのばす。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（環境 ）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110671	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

この授業では、文法、リーディング、リスニングの能力を問題演習によって総合的に高めることを目的とする。毎回現在完了形や仮定法、比較構文などの特定の文法事項がフォーカスされているので、体系的に英語を学びつつ、後期のTOEIC対策に備えてもらいたい。また、英語での1分間スピーチも毎回行うので、スピーキングの練習も日常的に行ってもらうことになる。

到達目標

- (1) TOEICに必要な文法知識・読解力・聞き取り能力の基礎力をつける
- (2) 単語テストを通じて語彙を増強する
- (3) スピーチなどの練習を通じて積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	出題範囲は教科書で学習した内容を中心とする。評価基準の詳細は下に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	単語テストの平均点...10点 中間まとめテスト...20点 授業への貢献度...30点

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

授業外学習

- ・毎回冒頭で単語テストを実施するので、新出単語は事前に覚えておくこと(リストは毎回こちらで準備します)。
- ・Grammar Sectionの問題、Reading Sectionの文章はあらかじめ予習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総合英語パワーアップ(中級編)	JACETリスニング研究会	南雲堂	978-4-523-17716-6
2				
3				

基本的に教科書の内容をすべて網羅するが、中間テストの結果を見て文法・読解・リスニングのうち特定の分野を重点的に取り組む場合もある。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境 ）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110672	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

前期授業の様子を見て教科書を決定しますので、後期授業開始前にもう一度シラバスをご参照ください。

到達目標

教科書決定後にお知らせします。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境）					担当教員	村上 幸太郎
講義コード	1110672	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

[illegible]

講義名	英語 A（展開コース）（環境 ）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110681	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG203						

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 (1) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します (40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 (2) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し (30%)、到達目標 (3) に関しては、各回の小テストで評価します (30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を 4 回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEICR TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ (スマートフォンでも計測機能があればOK) を持ってきてください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰 (監修)	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B（展開コース）（環境）					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110682	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG204						

授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

到達目標

- （１）TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。（２）TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。
（３）TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標（１）に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します（40％）。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標（２）に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し（30％）、到達目標（３）に関しては、各回の小テストで評価します（30％）。

出欠状況は毎回確認します。授業を４回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEICR TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰（監修）	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境a)					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130010	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- （１）本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- （２）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- （３）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- （４）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- （５）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境b)					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130020	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木太一編	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境c)					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130030	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- （１）本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- （２）情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- （３）情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- （４）ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- （５）表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境d)					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130040	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要とされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木太一編	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（環境a）					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130140	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（80％）と最終課題の達成度（20％）

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論（環境b）					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130150	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（環境c）					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130160	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（80％）と最終課題の達成度（20％）

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論（環境d）					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130170	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	101INF101						

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得しレポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	環境行動論					担当教員	迫田 正美
講義コード	1150050	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	312PEL302-C,313ARC208						

授業概要

本講義では、前半は基礎的学習として、人間の行動と空間、身体と環境との関係について考察するために必要な基本的な知識を習得するとともに、人間行動と環境との密接な関連性について講述する。後半では行動の場所としての環境、行動的実践の結果としての環境の形成、及び行為の規範としての慣習や文化の形成と風土性、風景との相互連関について講述する。

到達目標

- (1) 毎回の講義のテーマについて適切な質問または意見を述べることができる。
- (2) 環境と行動に関する基礎的な知識について説明することができる。
- (3) 人間の行動と環境（社会・文化的コンテキスト）の相互作用について事例を挙げて述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	55	(2) (3)
レポート課題	45	(1) (2) (3)
上記以外		

授業外学習

講義で示した参考文献・資料について目を通すこと

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境と人間-生態学的であることについて	滋賀県立大学環境ブックレット4	サンライズ出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	かくれた次元	E.T. ホール	みすず書房	
2	発生的認識論	J. ピアジェ	白水社	
3	生きた隠喩	P. リクール	岩波書店	

資料、参考書は適宜講義の中で配布、提示する。『視覚ワールドの知覚』J.J. ギブソン、『精神科学における歴史的世界の構成』W. デイルタイ、

前提学力等

履修資格

講義名	人間探求学（環境政策・計画）					担当教員	学科教員／井手 慎司／小野 奈々／ 香川 雄一／金谷 健／上河原 献二／ 高橋 卓也／林 宰司／平山 奈央子／ 村上 一真／和田 有朗
講義コード	1150300	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101HUM101						

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探究し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。授業形態は各学部により異なるが、学部毎に1年生を少人数グループ（5～6名）に分け、担当教員が割り当てられる。

- 各教員が、以下のことをねらいとして独自のプログラムを工夫する。
- ・大学で学ぶことの意義付け、人生における位置付け等について考えさせる機会とする。
 - ・高校の教育課程から大学の教育課程にスムーズに移行できるようにする（受け身的な教育→自発的に学ぶ姿勢）。
 - ・教員や他の学生のもの見方、考え方に直接触れ、触発される機会を提供する。
 - ・教育の原点である人間と人間のふれあいの機会をつくる。
 - ・人権感覚を磨く。

到達目標

(1)自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養う、(2)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける、(3)人権感覚を磨く。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	55%	到達目標の(1) , (2) 45% 到達目標の(3) 10%
上記以外	45%	プレゼンテーション 到達目標の(1) , (2) 45%

到達目標の(1)～(2)はレポート（45%）およびプレゼンテーション（45%）、(3)はレポート（10%）で各担当教員が評価を行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導教員より適宜指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	G I S 演 習					担当教員	香 川 雄 一
講義コード	1200050	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	212ETR303						

授業概要

GIS（地理情報システム）は現在計画分野で活用されつつある。その基本を学び、GISを環境計画に応用するためのデータ作成方法、データ解析および表示方法について課題演習を通して学習する。

到達目標

- ・GISの仕組みについて理解することができる。
- ・GISソフトを操作することができる。
- ・GISを利用するためのデジタル地図を選択することができる。
- ・GISを用いてオリジナル主題図を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	・GISを利用するためのデジタル地図を選択することができる。（10%） ・GISを用いてオリジナル主題図を作成することができる。（50%）
上記以外	40	・GISの仕組みについて理解することができる。（10%） ・GISソフトを操作することができる。（30%）

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
4回以上欠席した場合、課題をすべて提出しないと評価の対象としない。

授業外学習

授業の進度にしたがって小レポートを数回提出する。課題に必要な作業を宿題として出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図解！ArcGIS 10 Part1 身近な事例で学ぼう	佐土原聡編 稲垣景子著	吉田聡・古屋貴司・古今書院	9784772241564
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ArcGIS Desktop 逆引きガイド	Esriジャパン株式会社著	Esriジャパン株式会社	9784902294880
2				
3				

前提学力等

Windowsを扱えること。

履修資格

講義名	イベント計画演習					担当教員	佐々木 和之
講義コード	1200090	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

環境政策を具体的に提案していくことを目的とする。本年集では実務の視点から、環境政策に関連するイベントの課題を自ら引き出し、課題解決の方法として実際に体験および企画実践を行う。実施後は、結果を自ら分析し検証する。加えて、政策課題を抽出し、さらにはアウトプットとして提示していくことを目指す。
環境基本計画やイベント計画、リサイクル計画といったものをフィールドワークも交えながら捉えていく。自ら具体的フィールドを相手に仕掛ける体験を通して、実務・実践についての理解を深める。

到達目標

- (1)環境政策デザインとは何かを理解することができる
- (2)実際のイベントを企画実施することで、その企画を分析・評価できるようになること。
- (3)環境政策デザインを表現することができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題提出により評価する (1)については課題評価20% (2)については課題評価40%

実際のイベント実践に参加できないものは履修できない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	イベント計画論					担当教員	佐々木 和之
講義コード	1200100	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

環境政策を具体的に提案していくことを目的とする。本年集では実務の視点から、環境政策に関連するイベントの課題を自ら引き出し、課題解決の方法として実際に体験および企画実践を行う。実施後は、結果を自ら分析し検証する。加えて、政策課題を抽出し、さらにはアウトプットとして提示していくことを目指す。
環境基本計画やイベント計画、リサイクル計画といったものをフィールドワークも交えながら捉えていく。自ら具体的フィールドを相手に仕掛ける体験を通して、実務・実践についての理解を深める。

到達目標

- (1)環境政策デザインとは何かを理解することができる
- (2)実際のイベントを企画実施することで、その企画を分析・評価できるようになること。
- (3)環境政策デザインを表現することができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題提出により評価する (1)については課題評価20% (2)については課題評価40%

実際のイベント実践に参加できないものは履修できない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	イベント計画論・演習					担当教員	佐々木 和之
講義コード	1200101	単位数	3	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

環境政策を具体的に提案していくことを目的とする。本年集では実務の視点から、環境政策に関連するイベントの課題を自ら引き出し、課題解決の方法として実際に体験および企画実践を行う。実施後は、結果を自ら分析し検証する。加えて、政策課題を抽出し、さらにはアウトプットとして提示していくことを目指す。
環境基本計画やイベント計画、リサイクル計画といったものをフィールドワークも交えながら捉えていく。自ら具体的フィールドを相手に仕掛ける体験を通して、実務・実践についての理解を深める。

到達目標

- (1)環境政策デザインとは何かを理解することができる
- (2)実際のイベントを企画実施することで、その企画を分析・評価できるようになること。
- (3)環境政策デザインを表現することができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題提出により評価する (1)については課題評価20% (2)については課題評価40%

実際のイベント実践に参加できないものは履修できない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	環境政策デザイン論・演習					担当教員	佐々木 和之
講義コード	1200102	単位数	3	開講期	後期		
ナンバリング番号	312ETR302-C						

授業概要

環境政策を具体的に提案していくことを目的とする。本年集では実務の視点から、環境政策に関連するイベントの課題を自ら引き出し、課題解決の方法として実際に体験および企画実践を行う。実施後は、結果を自ら分析し検証する。加えて、政策課題を抽出し、さらにはアウトプットとして提示していくことを目指す。
環境基本計画やイベント計画、リサイクル計画といったものをフィールドワークも交えながら捉えていく。自ら具体的フィールドを相手に仕掛ける体験を通して、実務・実践についての理解を深める。

到達目標

- (1)環境政策デザインとは何かを理解することができる
- (2)実際のイベントを企画実施することで、その企画を分析・評価できるようになること。
- (3)環境政策デザインを表現することができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題提出により評価する (1)については課題評価20% (2)については課題評価40%

実際のイベント実践に参加できないものは履修できない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	エコロジー経済学					担当教員	村上 一真
講義コード	1200120	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

環境問題の多様化・複雑化による環境保全経費増加に対する負担構造のあり方や実際についての理解を目指す。講義では、環境政策を担う組織や制度、権限や予算等の移譲と役割・機能分担、政策立案や予算編成、行政評価、財政のしくみや現状とともに、費用負担（汚染者負担、受益者負担、共同負担）と受益の関係の違いなどにより設計された、国際レベル・国レベル・地方レベルの様々な環境政策手段の理論と実際について学ぶ。

到達目標

(1)国・地方自治体の役割・機能に基づく行政・公共政策のしくみと現状、(2)国・地方自治体の政策実施等の原資となる財政のしくみと現状、(3)国・地方自治体の環境政策の手段や組み合わせのしくみと現状、(4)エネルギー・地球温暖化、森林政策の経済的手法のしくみと現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

毎回の授業中にレポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	水と森の財政学	諸富徹・沼尾波子	日本経済評論社	
2	環境政策のポリシーミックス	諸富徹	ミネルヴァ書房	
3				

適宜、資料を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	応用数学					担当教員	井手 慎司
講義コード	1200150	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	112BTR202						

授業概要

数式化された問題をいかに解くかを、技術士試験問題を例題として解説する。

到達目標

- (1) 逆三角・複素関数の問題が解ける。
- (2) 微分・高次微分・偏微分の問題が解ける。
- (3) 極限と級数の問題が解ける。
- (4) 積分・微分方程式の問題が解ける。
- (5) ベクトル・行列の問題が解ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	到達目標で示す(1)(2)(3)については、定期試験(30%:(1)10%,(2)10%,(3)10%)、(4)については定期試験(20%)、(5)については定期試験(20%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	30	到達目標で示す(1)(2)(3)については、中間試験(15%:(1)5%,(2)5%,(3)5%)、(4)については中間試験(5%)、(5)については中間試験(10%)で評価する。

中間試験を実施する。中間テストでは、H15-24の問題1から10の100問の中から10問だす。
定期試験はH15-24の全200問から20問だす。

授業外学習

毎週、グループ毎に次週までに解いてくる課題を1題ずつ課す。
おそらく授業では100問前後を解くのがやっとなだろう。授業中に解説している問題が解ける者は授業を聞いている必要はない。自分で新しい問題を

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	科学技術者のための基礎数学	矢野健太郎・石原繁	裳華房	978-4-7853-1035-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

校数学で数・Bまでの基礎学力をもつこと。
高校で数 までやっていない学生は、基礎数学 と を履修することが望ましい。

履修資格

講義名	応用統計学					担当教員	岩見 麻子
講義コード	1200160	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212BTR301						

授業概要

社会現象における状況認識や問題発見、そしてその解決には、地域・社会調査により得られた情報、あるいは既存の統計資料を用いたデータ分析が重要となる。本授業では、講義により統計学の知識を習得するとともに、統計解析ソフトを用いたデータ分析の演習を行う。統計学に関する用語を理解した上で、推定や検定などの統計データの扱い方に進む。また、統計分析の解釈に必要な相関関係や回帰分析についても自ら実施できるようにする。

キーワード：基本統計量、回帰分析、確率・分布、検定・推定

この科目は社会調査士資格・地域調査士資格を取得する際に必要となる認定科目である。

到達目標

- (1) 統計学的手法（特に検定・推定）について理解できるようになる。
- (2) 実際の問題・データに対して統計学的手法を応用し、分析できるようになる。
- (3) 分析した問題を考察し、レポートとしてまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標(2)・(3)については最終レポート((2)30%、(3)30%)により評価する
上記以外	40%	到達目標(1)については毎回の課題で評価する

欠席が4回以上になると評価対象としない(20分以上の遅刻は欠席とみなす)。出席状況については、PCへのログイン状況で確認する予定である。

授業外学習

配布資料や参考書などを用いて予習・復習をすることが望ましい。
また、毎回の課題を行う際に、授業内容についてしっかり復習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	入門統計学	栗原伸一	オーム社	978-4274068553
2				
3				

上記以外の統計関連書籍も参考になります。

前提学力等

「基礎統計」の内容を十分理解していること。
MS Excelの基本的な操作ができること(入力・演算・関数の利用など)。

履修資格

講義名	応用統計学					担当教員	村上 一真
講義コード	1200170	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212BTR302						

授業概要

この授業では、応用統計学 で取得した統計学についての基礎知識を踏まえ、より高度な統計技法、具体的には多変量解析（多変量解析の概要、重回帰分析、判別分析、因子分析、主成分分析、クラスター分析）の方法を理解すること、および多変量解析の環境問題の調査研究への適用事例概要を理解することを、ねらいとする。授業は、講義およびパソコン演習（統計ソフト使用）形式で行う。

到達目標

(1)統計学の基礎理論を理解し、応用分析に用いることができるようになる、(2)基本統計量を理解し、統計的思考・判断ができるようになる、(3)統計分析のソフトウェアを使用することができ、応用分析ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)について、それぞれ平常点5(15/3)％、レポート11.7(35/3)％、中間まとめ8.3(25/3)％、期末試験8.3(25/3)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)について、それぞれ平常点5(15/3)％、レポート11.7(35/3)％、中間まとめ8.3(25/3)％、期末試験8.3(25/3)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

レポート12回

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	RとRコマンダーではじめる多変量解析	荒木孝治	日科技連	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	入門はじめての多変量解析	石村貞夫・石村光資郎	東京図書	
2				
3				

前提学力等

応用統計学 の内容をほぼ理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境アセスメント					担当教員	錦澤 滋雄 / 柴田 裕希 / 杉本 卓也
講義コード	1200300	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	211FFM207, 312ETR305, 313ARC305, 314BRM394						

授業概要

環境配慮の重要な手段である環境アセスメントについて、その理論と実際を論じる。アセスの意義と効果およびその限界、法制度による規定内容やそれらが導出されるに至った歴史的経緯などについて、具体事例を踏まえて解説する。またアセスにおける調査・予測・評価の方法論などの技術的側面や、自治体アセス、欧米諸国の制度や実施状況についても学ぶ。アセスは、行政の意思決定を支援する手段でもあり、この点で市民参加や社会的な合意形成の問題についても関連してくる。また、新しいアセスである、戦略アセスや持続可能性アセスメントの考え方も論ずる。

到達目標

- (1) 環境アセスメントとは何か、アセスの目的と要件を説明できる。
- (2) 調査・予測・評価の具体的手法とその問題点について説明できる。
- (3) 国内外のアセス法制度の概要、日本の制度の位置づけや課題を説明できる。
- (4) SEA / SAの意義や特徴を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	期末レポートを課す。
上記以外	75	授業中の課題、当日ブリーフレポートなどを課す。

授業外学習

環境アセスメントに関する本や論文の他に具体事業で作成された環境アセスメントの図書（方法書、準備書、評価書）を読むことでアセスの実際をより深く学ぶことができる。下記の環境省が提供するアセス支援ネットのページなどで閲覧できる。これらの情報はレポート執筆にも役立つ。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	改訂版・環境アセスメント	原科幸彦	放送大学教育振興会	
2	都市・地域の持続可能性アセスメント	原科幸彦・柴田裕希他	学芸出版社	
3				

授業中にプリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	環境アセスメント演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1200310	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

本演習の目的は、卒業研究につながる問題関心を現場から発掘し、育てることである。具体的な作業としては、環境問題にかかわる2名以上の方（学外の方）にインタビュー調査を実施する。その上で、調査内容についてレポートとしてまとめ、またプレゼンテーションにより説明する。さらに、一連のプロセスにおいて、社会調査により卒業研究を実施するために必要な基礎知識を身につける。次年度の研究室配属に向けて、卒業研究につながる関心の種を各自で発掘・把握し、言語化できるようになることを目指す。

到達目標

- (1) 卒業研究につながる問題関心を発掘できるようになる。
- (2) 学外の方2名以上にアポイントを取り、インタビューできるようになる。
- (3) インタビュー内容をレポートとしてまとめられるようになる。
- (4) インタビュー内容をプレゼンテーションにより説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(3) : 30%
上記以外	70%	インタビュー調査の経過報告(50%) : 到達目標(1)20%, (2)30% 報告会でのプレゼンテーションと議論(20%) : 到達目標(4)20%

授業外学習

インタビュー調査と経過報告の準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて各ゼミで指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境会計					担当教員	藤近 雅彦
講義コード	1200330	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	312ETC302, 314BRM391						

授業概要

環境会計とは、企業の環境問題に対する取り組みを会計的に分析・開示することを目的とする比較的新しい学問領域です。多くの企業で環境マネジメントシステムの導入や環境報告書の発行が進められていることから分かるように、企業経営を考えるうえでの環境保全の重要性は、近年ますます高まっています。本講義では企業経営と環境との関係を理解したうえで、企業の発行する環境報告書の分析などを通じて環境会計の理論及び環境管理などの実務について概略的な理解を深めることを目的とします。

到達目標

- (1) 環境会計の理論的枠組みが説明できる。
- (2) 環境報告の理論的・実務的背景が説明できる。
- (3) 環境報告書の読解を通じて、企業の環境保全への取り組みが理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	「到達目標」の(1)～(3)について、講義全体を通じての達成度を評価するために筆記試験を実施します。
レポート課題	40	6回目と11回目の講義終了後にレポートを課します。
上記以外		

授業外学習

環境会計の入門書として最適の書籍をテキストに選定しています。必ず入手して、講義の前に読んでおいてください。また、インターネットなどを利用して、関心のある企業の環境報告書（CSR報告書、サステナビリティ報告書を含む）を入手して読んでおけば、授業に対する興味がより高まる

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経営・会計（第2版）	國部克彦・伊坪徳宏・水口剛	有斐閣	978-4-641-12469-1
2				
3				

【注意】一部の書店やネットなどでは上記テキストの初版本（『環境経営・会計』（2007））も販売されているので、注意してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	BLUE EARTH COLLEGE ようこそ「地球経済大学」へ。	東京都市大学環境学部	東急エージェンシー	978-4-88497-123-6
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境化学					担当教員	丸尾 雅啓
講義コード	1200370	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	111DFM109, 312PEL304, 114BRM121						

授業概要

環境科学の学習、および教員を目標とするにあたり、必要な化学の基礎知識について、物理化学、無機化学を中心に講義する。高等学校で現象のみ扱っていた事項に関し、原理・法則に基づいた理解を深める。また実際の環境での化学物質の形態や変化に適用するための考え方について学ぶ。

到達目標

- 1) 化学で用いる基本的法則・表記法を理解し、適用できる。
- 2) 物質の三態と各々の構造、実在気体における状態方程式を理解する。
- 3) 化学平衡を理解し、酸塩基、溶解、酸化還元平衡の概念を実際の系に適用できる。
- 4) 反応速度、反応機構における律速段階を理解する。各到達目標の達成を目的とした小試験・宿題を課す(40%)。これに定期試験の成績(60%)をあわせて評価する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	
レポート課題	40	
上記以外		

授業外学習

テキスト：大学生の化学第2版（大野惇吉著：三共出版）
 指定図書：メイアン 大学の化学 第2版 [1][2]：廣川書店

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学生の化学第2版	大野惇吉	三共出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	メイアン大学の化学 第2版（絶版：図書館にあり）	メイアン	広川書店	
2	元素発見の歴史 1・2・3	大沼正則 訳	朝倉書店	
3				

前提学力等

高等学校「化学基礎」・「化学」を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境科学概論					担当教員	小泉 尚嗣 / 泉 泰弘 / 大久保 卓也 / 籠谷 泰行 / 後藤 直成
講義コード	1200390	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	111FFM103, 112BTR101, 113ARC102, 114BRM101						

授業概要

地球環境を構成する要素と環境変化の時空間スケールを把握した上で、土壌環境ならびに陸域・水域生態系の基本的構造とこれらに見られる今日的な諸問題について学ぶとともに、これからの食料確保と環境保全のあり方を展望する。

到達目標

環境変動の仕組みについて基本的な理解を得るとともに、自然環境と人間活動の関わり方について深く考察できる能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	期末試験の成績により評価する。
レポート課題	40	各担当教員の実施する小テストの結果を積算して評価する。
上記以外		

毎回出欠を確認する。各担当教員は授業内容について小テストを実施する。

授業外学習

授業をきっかけにして自分で参考書類を読むなどしてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：使用しない。プリントした資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：講義の中で必要に応じて紹介する。

前提学力等

高校理科習得程度。

履修資格

講義名	環境科学概論					担当教員	伊丹 清 / 芦澤 竜一 / 井手 慎司 / 上河原 献二 / 増田 佳昭 / 和田 有朗
講義コード	1200400	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	111FFM104, 112BTR102, 113ARC103, 114BRM102						

授業概要

多様な形で生じる環境問題は、社会の仕組みや制度と密接な関係を持っている。環境問題の解明と解決のために必要な社会的な視点やアプローチ方法について、具体的問題を取り上げながら教授する。

到達目標

次に例示するような環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること。

- A 環境問題を解決することの難しさを社会的ジレンマ構造によって説明できる。
- B すまうという行為と環境との関わりを多面的に説明できる。
- C 農業の環境に対する正負の影響と政策対応について説明できる。
- D 地球環境問題と持続可能な開発の基本的な事項について説明できる。
- E 緑化によるヒートアイランド緩和効果と廃棄物処理システムおよびごみ減量化について説明できる。
- F 建築と環境との関わりを多角的に説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること
レポート課題		
上記以外	50%	各回の小テスト

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は講義の中で紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境学原論					担当教員	村上 修一
講義コード	1200440	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212BTR201						

授業概要

本科目は、2015年度以前入学者を対象とする科目である。

本科目は、これから環境科学に関わる専門的な学習や研究を進めようとする履修生を対象として、環境問題にどう取り組めるのか、いかに取り組むべきか、視野を広げ考えを深めることを目的とする。具体的な題材として、専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる川の問題をとりあげる。まず、国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。次に、川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。その上で、川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

到達目標

- (1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
- (2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
- (3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標 (1) : ワークシート1 (30%) 到達目標 (2) : ワークシート2 (30%) 到達目標 (3) : ワークシート3 (40%)

ワークシート1, 2, 3は、それぞれ第5, 10, 14回の授業時間内に履修生が記述し、回収される。第6, 11, 15回に解説が行われ、履修生は理解を深める。

授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票—市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学—吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田 滋 他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境監査					担当教員	池北 實
講義コード	1200480	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	211FFM204, 312ETR303, 313ARC304, 314BRM392						

授業概要

地球温暖化防止をはじめとした環境問題の解決には、各組織の継続的な取り組みが欠かせない。このためには、経営に環境マネジメントシステムを導入することが不可欠とされ、多くの組織で導入されている。一方、マネジメントシステムには公正性と透明性が必要である。その健全性を確保し運用の実態を検証するために監査が必要となる。

本講では、環境マネジメントシステム（ISO14001）及び環境監査（ISO19011）を中心に学び、環境マネジメントシステム及びそのチェック機能としての環境監査のあり方や手法を理解する。更に、環境政策、企業の環境対応の現状、森林認証など監査（認証）の多様性を学ぶ。

キーワード：環境監査、内部監査、環境マネジメントシステム、ISO14001、ISO19011

到達目標

- （１）地球環境問題及び対応する取り組み並びに環境管理に関する国際規格について概要を説明できる。
- （２）環境監査の基準となるISO14001環境マネジメントシステム規格について、全体構築を含めて説明できる。
- （３）ISO19011マネジメントシステム監査のための指針に準拠した内部環境監査の運用を説明できる。
- （４）多様な分野における各種マネジメントシステムの特徴や政策科学の視座での手法を説明できる。

成績評価

種別	割合（％）	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	（１）第１回～第２回：各１回の演習５％、小テスト５％ （２）第３回～第６回：各１回の演習１５％、小テスト１５％ （３）第７回～第１２回：各１回の演習２０％、小テスト２０％

授業外学習

小テストの一つは、内部環境監査の理解度テストとして位置づけて、「内部環境監査員養成講座修了証」授与の条件にもなります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは、毎回講義でプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

鈴木敏央著「新・よくわかるISO環境法」（ダイヤモンド社）

前提学力等

履修資格

講義名	環境経営論					担当教員	高橋 卓也
講義コード	1200550	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212ETC310, 214BRM292						

授業概要

企業は環境破壊について多大な責任を有する一方、そのダイナミックな革新能力によって問題解決への貢献をなしうる。この授業では、企業経営者または所有者の視点に限定されることなく、従業員、政府、社会全体の視点からも、企業と自然環境の関係をいかに改善するかについて考えていきたい。その枠組みとして、経済学、経営学、政治学、社会学といった社会科学の諸分野を援用する。

到達目標

(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快地説明できるようになる。(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快地説明できるようになる、および(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる、については、期末筆記試験(50%:(1)25%,(2)25%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)環境経営の実践と理論について理解し、明快地説明できるようになる、および(2)環境経営の実践と理論の理解に基づいて、環境経営の課題を発見できるようになる、については、各回の参加および課題作業内容(20%:(1)10%,(2)10%)、事例報告(30%:(1)15%,(2)15%)で評価する。

授業外学習

指定図書、参考図書の指定部分の予習復習。事例研究報告のための準備。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経営入門(日経文庫)	足達 英一郎	日本経済新聞出版社	978-4532112042
2	CSR入門―「企業の社会的責任」とは何か(日経文庫)	岡本 享二	日本経済新聞出版社	978-4532110406
3	グリーン・トゥ・ゴールド―企業に高収益をもたらす「環境マネジメント」戦略	ダニエル・C. エスティ	アスペクト	978-4757214927

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境計画学					担当教員	未定 *
講義コード	1200560	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212BTR203, 313ARC206						

授業概要

有限な環境の中で持続可能な社会を構築するには、「計画」の概念を用いて人間の活動と環境の調和を図る必要がある。このような環境計画の考え方は、環境に関する問題や人間活動そのものが時代を追って変化の中で徐々に認識されるようになってきた。また、現在も多くの環境問題と多様な人間活動の中で、環境計画には多くの考え方や手法・技術、課題がある。この歴史の変遷を整理するとともに、現在の環境計画に関する制度的仕組みや様々な手法、エコビレッジといった最新の取り組みを国内外の事例を通じて学ぶ。

到達目標

- (1)環境問題と社会的意思決定とのかかわりを理解し、想定される環境問題に対し計画によって対処する適切な手法を判断できる力を養う。
- (2)世界のエコビレッジの思想と実践を理解する。
- (3)エコビレッジをデザインする力を養う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		到達目標(1)については、課題評価25% 到達目標(2)については、課題評価25% 到達目標(3)については、最終課題50%
上記以外		

授業外学習

課題ワークを数回課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	EDEカリキュラム日本語版 version 1.09	ガイアエデュケーション編	ガイアエデュケーション	
2	環境計画論	末石富太郎・環境計画研究会編	森北出版	4627943008
3	世界のエコビレッジ～持続可能性の新しいフロンティア	ジョナサン・ドーソン著/緒方俊雄・松谷泰樹・古橋道代訳	日本経済評論社	4818821284

適宜、授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境経済演習					担当教員	林 宰司
講義コード	1200571	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	112ETR202						

授業概要

本科目では経済学の基本的な考え方、思考方法を身につけ、環境を経済学的に分析できるようになることを目的とする。経済学は他の学問分野に比べて、独特な思考方法や概念、専門用語、論理構成が多く、初学者にとっては近づきたい側面があるかもしれない。本科目ではこのような経済学独特の考え方について解説するとともに、環境分析の際に経済学的思考ができるための準備をする。

到達目標

(1)経済学の基本的な考え方・思考方法を身につけ、環境問題を経済学的に分析・説明できるようになること。(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境問題について、定性的・定量的分析ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	到達目標 (1)30% , (2)30%
レポート課題	20%	到達目標 (1)10% , (2)10%
上記以外	20%	講義時間中に実施する小テスト 到達目標 (1)10% , (2)10%

授業外学習

毎回、予復習をしっかりと行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	公務員試験過去問新クイックマスターミクロ経済学 第5版	東京リーガルマインド LEC総合研究所 公務員試験部	東京リーガルマインド	9784844905677
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境経済学					担当教員	林 宰司
講義コード	1200580	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	312ETC303, 214BRM291						

授業概要

環境経済学の基礎理論と、その環境政策への応用を学ぶ。環境経済学は応用経済学の一分野であり、経済学的な思考方法を習得することが前提となる。そのための基本的な経済学の概念お理解は避けて通れない。ひとつの理論体系を習得することがねらいであるので、毎回の予習・復習、講義時のノート・テイキングは不可欠である。毎回の講義内容の理解の積み重ねが重要なので、理解不十分な点に関しては放置せず、各回ごとに必ず質問し、解決すること。

到達目標

- (1)経済学の基礎理論を理解し、環境問題の現象が起きるメカニズムを説明できること。
(2)環境問題を理論的に分析でき、環境政策の評価を定量的・定性的に行うことができること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	到達目標 (1)15%, (2)15%
レポート課題	30%	到達目標 (1)35%, (2)35%
上記以外		

授業外学習

毎回、予復習をしっかりと行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	グラフィック環境経済学	浅子和美, 落合勝昭, 落合由紀子	新世社	978-4-88384-221-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

環境経済学入門および経済学 の内容を理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境経済学入門					担当教員	高橋 卓也 / 林 宰司
講義コード	1200581	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM203, 112ETC101, 113ARC203, 114BRM194						

授業概要

人間社会にとっての環境問題を考察、解決するうえで、経済学的思考は強力なツールとなりえる。また、現代社会に生きる市民として、経済学は必要不可欠な一般教養でもある。本講義では、環境問題、資源問題を具体的に紹介し、経済学的思考に触れ、今後、どのような学びが必要かについて自覚してもらうことを目標とする。具体的問題としては、公害、地球温暖化、廃棄物、再生可能天然資源（森林、水産業）、非再生天然資源（鉱業）、土地利用などを取り扱う。それぞれの問題を中心の話題として講義を進める。この授業は、環境経済、環境経営系の一連の授業の導入にあたる。

到達目標

- (1)環境・資源問題に応用される経済的政策手法のうち、簡単な事例について説明できるようになる。
(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境・資源問題について定性的・定量的な予測・評価ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)および(2)について、試験（50%：(1)25%、(2)25%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)および(2)について、各回の課題作業（50%：(1)25%、(2)25%）で評価する。

授業外学習

林：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。
高橋：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経済学をつかむ【第2版】	栗山浩一・馬奈木俊介	有斐閣	978-4-641-17718-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境財政					担当教員	村上 一真
講義コード	1200582	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	211FFM205, 212ETC311, 313ARC306, 214BRM293						

授業概要

環境問題の多様化・複雑化による環境保全経費増加に対する負担構造のあり方や実際についての理解を目指す。講義では、環境政策を担う組織や制度、権限や予算等の移譲と役割・機能分担、政策立案や予算編成、行政評価、財政のしくみや現状とともに、費用負担（汚染者負担、受益者負担、共同負担）と受益の関係の違いなどにより設計された、国際レベル・国レベル・地方レベルの様々な環境政策手段の理論と実際について学ぶ。

到達目標

(1)国・地方自治体の役割・機能に基づく行政・公共政策のしくみと現状、(2)国・地方自治体の政策実施等の原資となる財政のしくみと現状、(3)国・地方自治体の環境政策の手段や組み合わせのしくみと現状、(4)エネルギー・地球温暖化、森林政策の経済的手法のしくみと現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

毎回の授業中にレポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	水と森の財政学	諸富徹・沼尾波子	日本経済評論社	
2	環境政策のポリシーミックス	諸富徹	ミネルヴァ書房	
3				

適宜、資料を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境シミュレーション					担当教員	井手 慎司
講義コード	1200620	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	312ETR306, 314BRM395						

授業概要

環境の諸現象を再現、分析、予測するための数学モデリングおよびコンピュータ・シミュレーション技法の基礎を学ぶ。授業ではモデリングの基本的な考え方（物質収支・反応速度論）、モデルの構築手順、コンピュータ・シミュレーションとのための数値解析（プログラミング）、シミュレーション結果のグラフィカル・プレゼンテーションなどについて解説する。

到達目標

- (1) モデルが表している現象を説明できる。
- (2) 物質収支を計算することができる。
- (3) 簡単な数値計算ができる。
- (4) VBAを用いてプログラムを作成できる。
- (5) Excelの表計算機能やVBAを用いて、シミュレーションプログラムを作成できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)については定期試験（10%）、(2)(3)については定期試験（10%：(2)5%、(3)5%）、(4)(5)については定期試験（30%：(4)15%、(5)15%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)については課題（10%）、(2)(3)については課題（10%：(2)5%、(3)5%）、(4)(5)については課題（30%：(4)15%、(5)15%）で評価する。

課題を5回出す。

授業外学習

課題にまじめに取り組み、ExcelやVBAによるシミュレーションプログラムの作成に習熟すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新 Excel コンピュータシミュレーション	三井 和男	森北出版	978-4-627-84871-9
2				
3				

毎回プリントを配付

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ワープロと表計算ソフトの基礎知識をもつこと。

履修資格

講義名	環境社会学					担当教員	關野 伸之
講義コード	1200630	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	112ETC203						

授業概要

今日、環境問題は人間社会の基盤を揺るがしかねない大きな問題となっており、人間社会の経済活動・社会構造に密接に関係しています。本講義では環境問題の解明と解決の道を探求する環境社会学について、実例を通して代表的な理論について理解を深めるとともに、研究や発展的学習につなげるための手がかりを提供します。

キーワード：生物多様性、廃棄物、エコツーリズム、気候変動

到達目標

- 【知識・理解の観点】
1. 環境問題の代表的な問題群について、包括的に知識を獲得することができる。
 2. 環境社会学の代表的理論の潮流について、身近な問題とつなげ自らの展望をもつことができる。
- 【思考・判断の観点】
1. 環境問題は自然科学的な問題だけでなく、社会制度や経済政策とともに考えなければならない問題であることを理解できる。
 2. 環境問題の解決には多様なアクターによる討議が必要であることを理解できる。
- 【関心・意欲・態度の観点】
1. 自らの生活や地域社会のあり方が大規模な地球環境問題にもつながっていることを自覚できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	論述問題（理解力、論理性、表現力、独自性の観点から評価します）
レポート課題		
上記以外	20	平常点（授業に積極的に取り組む態度を評価します）

授業外学習

新聞やインターネットで環境問題に関する記事に目を通すようにしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境社会学	船橋 晴俊	弘文堂	4335551436
2	なぜ環境保全はうまくいかないのか	宮内 泰介	新泉社	4787713019
3	だれのための海洋保護区か	關野 伸之	新泉社	4787714090

前提学力等

履修資格

講義名	環境情報					担当教員	未定 *
講義コード	1200645	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212ETR302						

授業概要

環境情報システム（データベース）の基礎を学ぶ。また、環境データベースを実際に構築する過程で、情報の収集・整理・保存・検索、また取得した情報の要約・分析・統合のための包括的な方法論を身につける。この授業では、単に環境分野を対象とするだけでなく、関連する社会経済分野も対象としてとらえる。

キーワード：データベース、データと情報、MS Access、環境、社会経済

到達目標

- (1) 社会経済と環境に関するデータを収集し、それらを適切に説明できるようになる。
- (2) データベースの基礎知識を習得する。
- (3) 収集したデータを用いて、簡単な環境情報データベースを構築できるようになる。
- (4) 構築したデータベースの説明ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	最終レポートにより到達目標(3) (10%) と(4) (20%) を、それぞれ評価する。
上記以外	70%	各回の課題により到達目標(1) (15%) と(2) (15%) を評価する。演習発表により到達目標(3) (30%) と(4) (10%) を評価する。

欠席が4回以上になると評価対象としない(20分以上の遅刻は欠席とみなす)。出席状況については、PCへのログイン状況で確認する予定である。

授業外学習

配布資料を用いて予習することが望ましい。
最終課題の提出に向けて授業外での作業が必要となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に紹介する(MS Accessに関する書籍であれば何でも参考になる。何か1冊を持っておくことが望ましい)

前提学力等

MS WordとExcelの中級以上の操作ができること。

履修資格

講義名	環境心理学					担当教員	佐々木 和之
講義コード	1200661	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212ETC302-C						

授業概要

本講義では、環境心理学を二つの側面から扱う。
 一つめの側面は、物理的な空間と人間の行動との関係性を解明し、実際の建築・建設等のデザインへの寄与を目指す、空間的課題への取り組みである。
 二つめの側面は、環境問題における人々の意志決定の要因を解明し、環境問題の解消に繋がる行動促進等を目指す、社会的課題への取り組みである。
 二つの側面を踏まえつつ、人々がどのように行動しているかを解き明かす方法の一つとして、環境心理調査手法を簡単な演習を通じて学ぶ。前半では導入として空間的課題をテーマとして、簡単な演習を行いながら学んでいく。後半は、社会的課題をテーマとした環境心理調査について、研究事例も踏まえながら考える。

到達目標

- (1)環境心理学の基礎が理解できている。
 (2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)環境心理学の基礎が理解できているについては、講義計画 印時のミニレポート(4%×10回)、(2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができるについては講義計画 印の講義時間内で作成するレポート(30%)、講義計画 印の講義時間内で作成するレポート(30%)で評価する。100 点満点で採点し、60

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	社会心理学（環境政策・計画）					担当教員	佐々木 和之
講義コード	1200662	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	235PSY304						

授業概要

本講義では、環境心理学を二つの側面から扱う。
一つめの側面は、物理的な空間と人間の行動との関係性を解明し、実際の建築・建設等のデザインへの寄与を目指す、空間的課題への取り組みである。
二つめの側面は、環境問題における人々の意志決定の要因を解明し、環境問題の解消に繋がる行動促進等を目指す、社会的課題への取り組みである。
二つの側面を踏まえつつ、人々がどのように行動しているかを解き明かす方法の一つとして、環境心理調査手法を簡単な演習を通じて学ぶ。前半では導入として空間的課題をテーマとして、簡単な演習を行いながら学んでいく。後半は、社会的課題をテーマとした環境心理調査について、研究事例も踏まえながら考える。

到達目標

- (1)環境心理学の基礎が理解できている。
(2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)環境心理学の基礎が理解できているについては、講義計画 印時のミニレポート(4%×10回)、(2)社会的課題、空間的課題について、環境心理調査手法を用いることができるについては講義計画 印の講義時間内で作成するレポート(30%)、講義計画 印の講義時間内で作成するレポート(30%)で評価する。100 点満点で採点し、60

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	環境水文学					担当教員	大久保 卓也
講義コード	1200665	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM210, 212PEL306, 214BRM232						

授業概要

森林、河川等の環境における水の動きとそれを支配するメカニズムについて解説する。また、その水の動きと連動する栄養塩、土砂等の物質の動き、および、それらの動きと生物との関わりについて解説する。日本および滋賀県における水利用の歴史、水害の歴史についても解説する。

到達目標

- (1) 水の動きの基礎的知識と理論を習得する
- (2) 水利用の歴史、水害対策の歴史から先人たちの創意工夫を学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題	10	
上記以外	40	毎回の小テスト

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎回、講義の終わり（または、はじめ）に10分間程度の小テストを行う。レポートは、各自の地元の水利用、水害の歴史について調べてもらうことを予定している。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	エース水文学	池淵周一ほか	朝倉書店	4-254-26478-X
2	例題で学ぶ水文学	椎葉充晴ほか	森北出版	978-4-627-49631-6
3	地域環境水文学	丸山利輔ほか	朝倉書店	978-4-254-44022-5

前提学力等

履修資格

講義名	環境政策学					担当教員	上河原 献二 / 和田 有朗
講義コード	1200700	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	211FFM206, 212BTR202, 213ARC205, 214BRM295						

授業概要

環境政策が成立する背景、環境政策に関わる組織と制度、環境政策の目標と手段など、環境政策の体系に関する理解を目指す。環境政策は、環境問題を解決するために実践された様々な試みが成立の根拠となっている。現在では、汚染管理、自然環境保全、地球環境保全、さらには放射性汚染対策まで拡大している。ここでは主要な政策の形成過程にとどまらず、その実施過程と成果を概観して、当該政策の意義と問題点を説明する。さらに、政策の実効性を高めるためには、政府だけではなく多元的な主体が関与する必要があるため、環境ガバナンスを巡る課題について解説する。

到達目標

- (1) 環境問題と環境政策の関連について説明できる
- (2) 環境政策の性格と機能を理解できる
- (3) 環境政策の目標と手段を説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	到達目標(2)について15% 到達目標(3)について15%
レポート課題	40	各授業中に作成するレポート 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について10%
上記以外	30	中間試験 到達目標(2)について15% 到達目標(3)について15%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境社会検定試験ECO検定公式テキスト	東京商工会議所編	日本能率協会マネジメントセンター	ISBN978-4-8207-4924-0
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境生物学					担当教員	浦部 美佐子
講義コード	1200770	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	111DFM108, 112PEL204, 114BRM120						

授業概要

環境と生物のかかわりを理解するために必須である生物学の基礎事項、すなわち生物の体を形作る基本となつて細胞の構造と働き、有機高分子（タンパク質、脂質、炭水化物、核酸）の構造とそれらの主な働き、エネルギー交代・物質交代のしくみ、遺伝と進化のしくみについて説明する。

到達目標

- (1)生物体の構造と機能について基礎的な用語と概念を理解すること。
- (2)生体内で起こっている現象について、論理的に推論できること。
- (3)講義で学んだ知識を用いて、一般社会および自己の生活の中でみられる生物学的事象を科学的に理解できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	小テストの得点と合計して60点以上を可、70点以上を良、80点以上を優、90点以上を秀とする。
レポート課題		
上記以外	40	小テストの評価とする。

5回以上無断欠席した者は原則として定期試験の受験を認めない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学生生物学の教科書 第1巻「細胞生物学」		講談社ブルーバックス	
2	大学生生物学の教科書 第2巻「分子遺伝学」		講談社ブルーバックス	
3				

期末試験において「章末問題」から一部出題をする。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	細胞の分子生物学 第5版	Albertほか	ニュートンプレス	
2	進化—分子・個体・生態系	パートンほか	メディカルサイエンスインターナショナル	
3				

前提学力等

高校で化学あるいは生物を履修していること

履修資格

講義名	環境地球科学					担当教員	堂満 華子
講義コード	1200890	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211DFM205, 212PEL303, 214BRM123						

授業概要

地球は46億年前に誕生してからさまざまな変遷を経て今日に至っている。本講義ではおもに、動く大地についての考え方や地球の環境がどのようにしてつくられてきたのかについて解説する。これをもとに、現在の地球環境の成立について学ぶ。

到達目標

地球とその歴史に関する基礎知識を修得し、現在の地球環境の成り立ちを理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	授業中に小テストを課す。 第8回と第15回では力だめしテストを実施する。

授業計画と成績評価方法は多少なりとも変更があり得ます。たとえば、なんらかの理由で休講になる場合、レポートを課すことがあるかもしれません。受講人数が多い場合、小テストを宿題に切り替えるかもしれません。受講生の理解度を確認しながら進むため、授業計画を見直すかもしれません。したがって、シラバス上の授業計画と成績評価方法はめやすと受け取ってください。授業計画と成績評価方法を変更する際は授業中に説明します。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図解・プレートテクトニクス入門（ブルーバックス）	木村 学・大木勇人	講談社	4062578344
2	地震・プレート・陸と海—地学入門（岩波ジュニア新書92）	深尾良夫	岩波書店	4005000924
3	地学のツボ—地球と宇宙の不思議をさぐる（ちくまプリマー新書）	鎌田浩毅	筑摩書房	4480688048

プリント配布

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200960	単位数	3	開講期	前期		
ナンバリング番号	111FFM102-C, 112BTC101-C, 113ARC101-C, 114BRM100-C						

授業概要

実際の地域環境問題が生起するフィールドに足を運び、自分自身の五感を通して環境問題に触れ、それを図、文字、数値データに記録する方法を学ぶ。また、自分自身で記述した記録から、地域環境問題がどのような問題構造をもったものであるか、グループ討議を通して組み立てる演習をおこなう。実際には4つのテーマで授業を行う。1テーマあたり3～4週を1クールとし、各クールで別テーマの授業を受ける。

4つのグループに分かれて、3～4週（1週は3、4、5時限の合計3時限）でひとつのテーマ、合計4つのテーマについてフィールド実習・演習をおこなう。
 テーマは「水系と生活空間」、「愛知川周辺の農村地域の自然・社会環境」、「エコキャンパス・バイオロジー」、「流域環境の構造と機能」である。各グループ実習・演習の中で1週は学外に出かけ、フィールド観察・施設・機関の見学などをおこなう。また、4回のグループ実習・演習ごとにその観察結果をまとめ、グループでプレゼンテーションを行うとともに、各個人がレポートを提出する。
 各テーマでの授業計画については、各テーマ開始時に示される。

到達目標

- (1) フィールドワークに必要な基本的スキルを身につける。
- (2) 指定された項目について、文章で表現できる。
- (3) 調査結果を考察し、その内容を他者に説明できる基礎力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークの基本スキルの修得：40% (項目2) 指定された項目に対する文章表現：30% (項目3) 調査結果を考察し、それを他者に説明する能力：30%

各項目についての成績評価方法は各テーマで異なるので、各テーマの授業開始時に説明をうけること。

授業外学習

各テーマの実習・演習終了時あるいは実施中にレポート等が課されることが原則である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フィールドワーク心得帖 新版	滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会	サンライズ出版	978-4883255627
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200960	単位数	3	開講期	前期		
ナンバリング番号	111FFM102-C, 112BTC101-C, 113ARC101-C, 114BRM100-C						

[illegible]

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200970	単位数	3	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM202-C, 212BTC201-C, 213ARC201-C, 214BRM200-C						

授業概要

地域環境にかかわる情報は多分野にまたがり、性質も多様である。これらの環境情報を収集し解析するために、対象地域あるいは問題対象を特定し、フィールドワークを通じて、自然調査や社会調査の基本的な手法を学んでいく。ねらいは、フィールドワークの手法を地域の環境問題の解析に適用することにより、現場に即した調査態度と解析手法、レポートに作成、発表の方法を学ぶことである。実際には9つのテーマに分かれ、その1つのテーマについて15週の授業を受ける。

学生はAからIまでの9グループに分かれる。グループ編成は学生の希望にもとづき、教員側で決定する。前期を通じて同じグループで授業を受ける。授業の成果を報告集として作成することを目指す。各テーマでの授業計画については、授業開始時に示される。

到達目標

- (1) なんらかの課題に対し、教員の指導の下でフィールドデータを取ることができる。
- (2) 取得したデータに対し、基礎的な分析を行うことができる。
- (3) データの分析結果に基づき、論理的に議論できる。
- (4) データの分析結果を適切な文章で表現できる。
- (5) 初歩的な報告書を書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークのパフォーマンス: 60% (項目2) データ分析のパフォーマンス: 10% (項目3) プレゼンテーションのパフォーマンス: 10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200970	単位数	3	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM202-C, 212BTC201-C, 213ARC201-C, 214BRM200-C						

[illegible]

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200980	単位数	3	開講期	通年集中		
ナンバリング番号	311FFM302-C, 312PEL301-C, 313ARC301-C, 314BRM310-C						

授業概要

各教員が提示するテーマごとのグループに分かれ、その教員の指導のもとで15週45講分の時間を用い、フィールドワークを主体とした調査を行ない、調査報告書を作成する。

授業計画は、各教員によって異なる。
4月に環境フィールドワーク委員会から配布される「各グループのテーマおよび内容」を参照のこと。そのうえで、環境フィールドワーク委員会の指示にしたがい、どのテーマのグループに所属したいかを記した希望票を提出すること。

到達目標

- (1) 特定の課題に対し、教員の指導を受けつつ自発的にフィールドデータを取ることができる。
- (2) 取得したデータに対し、専門的知見を交えた分析を行うことができる。
- (3) データの考察を行い、その結果を適切な文章で表現できる。
- (4) 考察を交えた報告書を書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークのパフォーマンス: 60% (項目2) データ分析のパフォーマンス: 20% (項目3、4) 報告書作成のパフォーマンスおよび文章の質: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200980	単位数	3	開講期	通年集中		
ナンバリング番号	311FFM302-C, 312PEL301-C, 313ARC301-C, 314BRM310-C						

[illegible]

講義名	環境物理学					担当教員	小泉 尚嗣
講義コード	1200990	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	111DFM110, 112PEL203, 114BRM122						

授業概要

この講義では、物理学の基本である力学を扱う。大学レベルの物理学の基本を扱うので、微分・積分・ベクトル代数を使用する。特に、微分・積分については前期に開講している「基礎数学Ⅰ」程度の内容は理解していることを前提とする。ただし、必要な数学的知識について最小限の復習は行う。また新たな数学的手続きを使用する場合、丁寧な解説を行う。この講義では、力学の基本的現象を理解したうえで、それを数式化して解析することを学ぶ。物理学を「道具」として使えるように、物理法則適用の前提を明らかにした上で、基本的な演習問題を解くと共に、身近な現象に物理学がどのように適用できるかも考える。

到達目標

- (1) 基礎的な力学を理解する。(学科到達目標3)
- (2) 微分積分およびベクトルの基礎を用いて、力学の基礎的問題を解けるようになる。(学科到達目標4)
- (3) 基本的な物理現象について、力学の用語を正確に用いて説明できるようになる。(学科到達目標8)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題		
上記以外	70	宿題

授業外学習

15回の授業期間中に、7～12回の宿題を課す。宿題は毎回添削のうえ返却する。宿題は2週間以内に提出を原則とする。出席状況も加味した毎回の宿題が、成績評価の7割をしめる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	自然科学の基礎としての物理学	原 康夫	学術図書出版社	
2	工科系のための基礎力学	井上光 ほか	東京数学社	
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

高校程度の微分積分およびベクトルを理解していること。微分積分の知識が不足している場合は、前期の「基礎数学」を履修していること。また、平行して「環境数学・演習」あるいは「応用数学」を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	環境法					担当教員	上河原 献二 / 小林 泉
講義コード	1201039	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM211, 212ETC301, 214BRM297						

授業概要

1970年代に整備された環境法は、公害・自然破壊から環境保全へ、更に地球環境問題と対象とする問題が変化するにつれて対応する法体系も大きく変容してきている。この講義では、方途社会という広い観点に立つて、国の法律をはじめ関連する地方自治体の条例、企業における取組など、社会全体での環境を問もRルールについて概観する。そして環境と法、市民・企業レベルの参加のあり方などについて理解を深める。

到達目標

(1) 環境法全体の歴史、性格、行政主体の役割の基本的事項を理解するとともに説明できる。(2) 個別分野の環境問題に関する法律の対象問題、基本的構造及び課題について理解するとともに、説明できる。(3) 環境法に関する横断的事項・手法を理解するとともに、それらを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)について15% 到達目標(2)について30% 到達目標(3)について15%
レポート課題	40	宿題のレポートを2回課す。 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について20%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境法のフロンティア	黒川・奥田編	成文堂	ISBN978-4-7923-3331-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境法					担当教員	上河原 献二 / 小林 泉
講義コード	1201040	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

1970年代に整備された環境法は、公害・自然破壊から環境保全へ、更に地球環境問題と対象とする問題が変化するにつれて対応する法体系も大きく変容してきている。この講義では、方途社会という広い観点に立って、国の法律をはじめ関連する地方自治体の条例、企業における取組など、社会全体での環境を問もRルールについて概観する。そして環境と法、市民・企業レベルの参加のあり方などについて理解を深める。

到達目標

(1) 環境法全体の歴史、性格、行政主体の役割の基本的事項を理解するとともに説明できる。(2) 個別分野の環境問題に関する法律の対象問題、基本的構造及び課題について理解するとともに、説明できる。(3) 環境法に関する横断的事項・手法を理解するとともに、それらを説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)について15% 到達目標(2)について30% 到達目標(3)について15%
レポート課題	40	宿題のレポートを2回課す。 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について20%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境法のフロンティア	黒川・奥田編	成文堂	ISBN978-4-7923-3331-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境マネジメント演習					担当教員	高橋 卓也
講義コード	1201060	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	312ETR304						

授業概要

企業または組織の自然環境との関係についての事例から作成された演習課題に取り組むことによって、組織の多面性、組織環境、財務管理、ステークホルダーとの関係管理などの概念および実際について学ぶ。

到達目標

(1)環境経営について体系的に分析し、問題解決方法を提案できるようになる。(2)環境経営における課題の解決方法を、説得力をもって説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)環境経営について体系的に分析し、問題解決方法を提案できるようになる、および(2)環境経営における課題の解決方法を、説得力をもって説明できるようになる、について、演習作業状況(20%:(1)10%、(2)10%)、成果報告(80%:(1)40%、(2)40%)で評価する。

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

講義の復習及び報告のための準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	自然資本の経済―「成長の限界」を突破する新産業革命	ポール・ホーケン、L. ハンター・ロビンズ、エイモリー・B. ロ	日本経済新聞社	978-4532148713
2	ディーブエコノミー 生命を育む経済へ	ビル・マッキベン	英治出版	978-4862760296
3	グリーン・トゥ・ゴールド―企業に高収益をもたらす「環境マネジメント」戦略	ダニエル・C. エスティ	アспект	978-4757214927

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	環境倫理学					担当教員	土屋 正春
講義コード	1201080	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	環境公正論					担当教員	土屋 正春
講義コード	1201085	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	312ETC304, 313ARC207						

授業概要

到達目標

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎数学					担当教員	山崎 惣治郎
講義コード	1201110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	111FFM105, 112PEL101, 113ARC104, 114BRM190						

授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。

授業概要（要約版：印刷用） 自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。

到達目標

(1)漸化式が解けること。(2)数列の極限が求められること。(3)ベクトル・行列の扱いに慣れること。(4)いろいろな曲線の表し方を理解すること。(5)確率の計算・確率分布・平均・分散が求められること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末考査
レポート課題	30	出席を含む
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎数学					担当教員	山崎 惣治郎
講義コード	1201120	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	111FFM106, 112PEL102, 113ARC105, 114BRM191						

授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、直感を重視しながら数学的な見方・考え方の力を身につけ、また環境問題を扱う上でしばしば見受けられる三角関数・指数関数・対数関数を軸として、関数の微少な変化を調べてその結果を知るための微分・積分の基礎的概念を学習する。

到達目標

- (1) 三角・指数・対数関数の計算ができること。
- (2) 平均変化率・導関数の計算ができること。
- (3) 置換積分・部分積分の計算ができること。
- (4) 簡単な微分方程式が解けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末考査
レポート課題	30	出席等
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎統計					担当教員	金谷 健
講義コード	1201130	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	112BTR201						

授業概要

統計資料の分析を進めていくため、統計学の基礎知識を学ぶ。各種の統計データの読み方やそこから作られる図表の読み方を習得し、基本的な計算やグラフの作成ができるようにする。具体的には官庁統計や簡単な調査報告・フィールドワークによる論文が読め、単純集計・度数分布・代表値・クロス集計などのデータを読めるようにする。また統計をどうして学ばなければならないか、統計が社会でどのように役立つかについても、理解していく。

到達目標

- (1) 統計学における基礎的な統計概念について、説明できること。
- (2) 記述統計学における基礎的な統計量について、手計算で計算できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	定期試験の結果で評価。 到達目標(1)について、20%。 到達目標(2)について、20%。
レポート課題	20	2回の宿題の結果で評価。 到達目標(1)について、10%。 到達目標(2)について、10%。
上記以外	40	中間ふりかえりの結果で評価。 到達目標(1)について、18%。 到達目標(2)について、22%。

特段の事情（病気等）がない限り、5回以上欠席した場合は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	数学嫌いのための社会統計学〔第2版〕	津島昌寛・山口洋・田邊浩編	法律文化社	4589036193
2				
3				

教科書は、初回授業から持参すること。持参を前提に、授業を実施する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	景観計画					担当教員	村上 修一
講義コード	1201160	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212PEL307, 213ARC302, 214BRM287						

授業概要

ランドスケープは、自然と人為の関わり合いをとおして形成される場の様相である。本科目では、ランドスケープの特徴や仕組みを分析して課題を抽出し、課題の解法を創造するための計画手法を学ぶ。受講生は単に知識を得るだけでなく、未来社会にふさわしい新たなランドスケープ形成手法を習得する。

- 各回の授業は以下のように実践形式である。
- (1) 目標とワークシート課題の提示
 - (2) 課題を解くために必要な手法の講述
 - (3) ワークシートの作成と採点

到達目標

講述する手法を用いたランドスケーププランニングができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標について授業時間内に実施する13回分のワークシート課題の点数を合計し(100点/回, 1300点満点), 100点満点に換算して評点とする(100%)。ワークシートは授業時間中に座席間を移動する教員によって採点される。

授業に出席しても、居眠り等によりワークシート課題を行っていない場合は、その回の点数は0点となる。

ワークシートは、講義の内容によって、トレーシングペーパー上で地図を作成する形式や、小クイズ形式の場合などがある。

授業外学習

本科目で習得した手法を、設計演習や卒業設計における課題制作に際して、積極的に活用し、その手法を確実に身につけてほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ランドスケープデザイン	佐々木葉二, 曽和治好, 村上修一, 久保田正一	昭和堂	
2	環境デザイン学 - ランドスケープの保全と創造	森本幸裕, 白幡洋三郎編	朝倉書店	
3	テキスト ランドスケープデザインの歴史	武田史朗, 山崎亮, 長濱伸貴編	学芸出版社	

前提学力等

履修資格

講義名	経済学					担当教員	林 宰司
講義コード	1201170	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	112ETC204, 114BRM195						

授業概要

現代経済学は、個別の経済活動を集計した一国経済全体を扱うマクロ経済学と、経済主体の最小単位である消費者、企業が活動を行う市場の分析を対象とするミクロ経済学に大きく分けられる。本講義では、主に後者のミクロ経済学の基礎理論を理解することを目的とする。

到達目標

- (1)消費者・生産者の経済行動の簡単な事例について、説明できるようになること。
(2)ミクロ経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、市場経済のしくみについて定性的・定量的な分析価ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)20%, (2)20%
レポート課題	30%	到達目標(1)15%, (2)15%
上記以外	30%	中間まとめ 到達目標(1)15%, (2)15%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

グラフ、一次方程式、確率計算、微分計算などの初歩的な数学の知識を前提とする。

履修資格

講義名	経済学（国際経済を含む）					担当教員	村上 一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212ETC201, 214BRM290, 337ILA211						

授業概要

現実のデータや実際の事象に着目し、日本や関西が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。講義では、マクロ経済学の標準的な理論にとどまらず、企業の生産水準や雇用状況などの様々な経済指標の読み方、日本経済や関西経済の動向・見通しなどについて、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。

到達目標

(1)マクロ経済学の基礎概念、(2)家計、企業、政府の行動理論と現状、(3)マクロ政策の理論と現状を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

適宜、小テスト・レポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学・入門(第4版)	福田慎一・照山博司	有斐閣	
2				
3				

授業中にレジメ配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学(第2版)	伊藤元重	日本評論社	
2				
3				

授業中にレジメ配布

前提学力等

履修資格

講義名	合意形成支援技法					担当教員	金谷 健
講義コード	1201320	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（ブレ-ンスト-ミング法、ブレ-ンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。

到達目標

- (1) 要素抽出技法（技法なし、ブレ-ンスト-ミング法、ブレ-ンライティング法）について、比較結果を論理的に説明できること。
- (2) 代替案評価技法（衆目評価法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (3) 代替案評価技法（AHP法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (4) 問題構造化技法（ISM法）について、問題構造化グラフを論理的に導けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	91	提出レポートで評価する。 到達目標(1)について15% 到達目標(2)について15%
上記以外	9	3回の発表の際に、受講者は、他グループ発表の評価を、評価シートに記載する。その記載内容で、評価する。 到達目標(3)について6% 到達目標(4)について3%

特段の事情（病気等；病院領収書等の提示が必要）がない限り、5回以上欠席した者は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は、特になし（資料配付）。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

行列、表計算の基礎知識を有すること。

履修資格

講義名	合意形成支援技法演習					担当教員	金谷 健
講義コード	1201330	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（プレ-ンスト-ミング法、プレ-ンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。

到達目標

- (1) 要素抽出技法（技法なし、プレ-ンスト-ミング法、プレ-ンライティング法）について、比較結果を論理的に説明できること。
- (2) 代替案評価技法（衆目評価法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (3) 代替案評価技法（AHP法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (4) 問題構造化技法（ISM法）について、問題構造化グラフを論理的に導けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	91	提出レポートで評価する。 到達目標(1)について15% 到達目標(2)について15%
上記以外	9	3回の発表の際に、受講者は、他グループ発表の評価を、評価シートに記載する。その記載内容で、評価する。 到達目標(3)について6% 到達目標(4)について3%

特段の事情（病気等；病院領収書等の提示が必要）がない限り、5回以上欠席した者は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は、特になし（資料配付）。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

行列、表計算の基礎知識を有すること。

履修資格

講義名	合意形成支援技法・演習					担当教員	金谷 健
講義コード	1201331	単位数	3	開講期	後期		
ナンバリング番号	212ETR304						

授業概要

廃棄物最終処分場の立地場所の選定、望ましい街づくりのありかた、などなど、環境問題では合意形成が必要な場面が非常に多い。しかし現実には、こうした合意形成が合理的になされていないことが少なくない。そこでこの授業では、関係者（市民、行政、企業など）の合意形成を支援する技法のいくつかについて、その目的や手順を理解することを、ねらいとする。対象技法は、要素抽出技法（プレ-ンスト-ミング法、プレ-ンライティング法）、代替案評価技法（衆目評価法、AHP法）および問題構造化技法（ISM法）である。

到達目標

- (1) 要素抽出技法（技法なし、プレ-ンスト-ミング法、プレ-ンライティング法）について、比較結果を論理的に説明できること。
- (2) 代替案評価技法（衆目評価法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (3) 代替案評価技法（AHP法）について、代替案評価結果を論理的に導けること。
- (4) 問題構造化技法（ISM法）について、問題構造化グラフを論理的に導けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	91	提出レポートで評価する。 到達目標(1)について15% 到達目標(2)について15%
上記以外	9	3回の発表の際に、受講者は、他グループ発表の評価を、評価シートに記載する。その記載内容で、評価する。 到達目標(3)について6% 到達目標(4)について3%

特段の事情（病気等；病院領収書等の提示が必要）がない限り、5回以上欠席した者は、成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は、特になし（資料配付）。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

行列、表計算の基礎知識を有すること。

履修資格

講義名	国際環境資源論					担当教員	高橋 卓也 / 林 宰司
講義コード	1201380	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	312ETC305, 314BRM393						

授業概要

環境問題、資源問題は、国際的な視野のもとで解決策を考えなければ、突破口は発見できない。この講義では、森林環境政策（第1回～第8回。高橋担当）および地球温暖化防止政策（第9回～第15回。林担当）の国際的な展開過程を跡づけるとともに森林環境政策および地球温暖化防止政策に伴う理論的・実際の諸問題を考える。

到達目標

- (1) 国際的な視野のもとで、環境・資源問題に応用される経済的政策手法の事例について説明できるようになる。
(2) 経済学の理論を使って、国際的な環境・資源問題について、その原因及び解決策について数式および図解により分析・説明ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標で示す(1)および(2)については、レポート課題((1)25%、(2)25%)で評価する。
上記以外	50	到達目標で示す(1)および(2)については、各回の作業課題((1)25%、(2)25%)で評価する。

授業外学習

森林環境政策及びその関連分野についてレポートをとりまとめる（高橋担当分）。「地球温暖化防止政策の課題と展望」についてレポートをとりまとめ、授業の中で発表する（林担当分）。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	コミュニティ計画論					担当教員	芦澤 竜一
講義コード	1201410	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

現代において地球環境を考慮した循環型社会を構築するために、建築分野を中心とした様々なサステナブルな計画、デザインの方法について論ずる。過去から現代までの都市計画、地域計画、建築デザイン、プロダクトデザインなど具体的な実例や取り組みを紹介しながら講義を行う。

到達目標

建築を中心とした様々なサステナブルデザインの知識を身につける。環境、都市、地域、建築における様々な問題を解決する思考方法を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	授業内容を理解し、自身の論を立てられていることを評価する。
上記以外	30	毎回の出席点

1/3以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業内容を踏まえ、自身で調査・思考することを求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

前提学力等

履修資格

講義名	サスティナブルデザイン論					担当教員	芦澤 竜一
講義コード	1201465	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	312PEL303, 313ARC303						

授業概要

現代において地球環境を考慮した循環型社会を構築するために、建築分野を中心とした様々なサステナブルな計画、デザインの方法について論ずる。過去から現代までの都市計画、地域計画、建築デザイン、プロダクトデザインなど具体的な実例や取り組みを紹介しながら講義を行う。

到達目標

建築を中心とした様々なサステナブルデザインの知識を身につける。環境、都市、地域、建築における様々な問題を解決する思考方法を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	授業内容を理解し、自身の論を立てられていることを評価する。
上記以外	30	毎回の出席点

1/3以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業内容を踏まえ、自身で調査・思考することを求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

前提学力等

履修資格

講義名	資源経済学					担当教員	高橋 卓也
講義コード	1201470	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212ETC309, 314BRM390						

授業概要

資源経済学の対象は、自然界から採取し、経済過程に投入される物質・エネルギーである。効率的で、公正で、持続可能な自然資源利用を実現するための基礎となるのが資源経済学に与えられた課題である。この授業では非更新性資源の異時点間配分に関するホテリングの原則、開放漁場における地代消滅に関するゴードンの定理、森林の最適伐期齢に関するファウストマン・ルールをはじめとする資源経済学の標準理論を学び、それらを参考に、持続可能な社会における自然資源利用のあり方を考える。

到達目標

- (1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる。
(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標で示す(1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる、および(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる、について期末筆記試験(60%:(1)40%、(2)20%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	到達目標で示す(1)自然資源の利用に関する経済学的分析の方法を理解し、簡単な予測・評価ができるようになる、および(2)現実の自然資源利用について、資源経済学的な課題を発見できるようになる、について毎回課する作業課題(40%:(1)20%、(2)20%)で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	資源と環境の経済学—ケーススタディで学ぶ	馬奈木 俊介 (編集)	昭和堂	978-4812212301
2	はじめての環境経済学	ジェフリー・ヒール	東洋経済新報社	978-4492313473
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

環境経済学入門・経済学 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	持続可能社会論					担当教員	高橋 卓也 / 林 宰司
講義コード	1201510	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

授業概要

人間社会にとっての環境問題を考察、解決するうえで、経済学的思考は強力なツールとなりえる。また、現代社会に生きる市民として、経済学は必要不可欠な一般教養でもある。本講義では、環境問題、資源問題を具体的に紹介し、経済学的思考に触れ、今後、どのような学びが必要かについて自覚してもらうことを目標とする。具体的問題としては、公害、地球温暖化、廃棄物、再生可能天然資源（森林、水産業）、非再生天然資源（鉱業）、土地利用などを取り扱う。それぞれの問題を中心の話題として講義を進める。この授業は、環境経済、環境経営系の一連の授業の導入にあたる。

到達目標

- (1)環境・資源問題に応用される経済的政策手法のうち、簡単な事例について説明できるようになる。
(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境・資源問題について定性的・定量的な予測・評価ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)および(2)について、試験（50%：(1)25%、(2)25%）で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)および(2)について、各回の課題作業（50%：(1)25%、(2)25%）で評価する。

授業外学習

林：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。
高橋：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経済学をつかむ【第2版】	栗山浩一・馬奈木俊介	有斐閣	978-4-641-17718-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	市民参加論					担当教員	佐々木 和之
講義コード	1201550	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	112ETC202-C						

授業概要

今日、行政計画をはじめ行政活動とその形成実施過程への市民参加は、計画づくりの段階で行われるワークショップ、実施の段階で行われる調整など、様々な形で取り組まれつつある。
参加機会が創出される一方で、市民の意見をどのように反映し、市民と共にどのように取り組んでいくかという、参加の実効性については課題がある。
そこで本講義では、市民参加についての基礎的な事項を踏まえた上で、市民参加の現場で活躍する外部講師を招いて具体的事例を踏まえた講義を聴く。実例を通じて、環境政策・計画、川づくり、まちづくり等への参加のあり方、市民参加の背景と現状の問題点、先進事例について理解する。
(講師の事情等により、授業計画の順番が入れかわる場合があります。)

到達目標

- (1)市民参加の考え方の理解
- (2)代表的な事例についての理解
- (3)文章記述力
- (4)オリジナルな意見、提案力
- (5)課題認識力

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	試験は配付資料・ノート持込可、40点満点とし、 (1)市民参加に関わるキーワードについて、理解を深め、それらを利用して、市民参加に関わる事例を説明することができる。5%
レポート課題		
上記以外	60	毎回ミニレポート4点×15回を課し、 (1)市民参加に関わるキーワードについて、理解を深め、それらを利用して、市民参加に関わる事例を説明することができる。10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義において適宜提示または配布する

前提学力等

履修資格

講義名	社会学					担当教員	座主 果林
講義コード	1201560	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212ETC306,214BRM298						

授業概要

この授業では、社会学の発想方法と理論のエッセンス、あわせて、社会学的研究の手法を学びます。身近なトピックなどを題材に、普段「あたりまえ」だと思っていることを問い直し、「常識」を相対化する社会的なもののかえ方を習得します。授業では、身近な社会のあり方を常識と異なる視点から捉えるための社会的なもののかえ方と、既存の理論について学びます。

到達目標

- 1) 社会学のものの見方・研究手法の基本を理解し、実際の例に活用する
- 2) 社会的思考法を身につけ、各自の課題に応用する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	48	最終レポート(48点) 社会的的手法を身につけ、各自の課題に応用する。
上記以外	52	小課題(4点×13回=52点) 社会学のものの見方・研究手法の基本を理解する。

授業外学習

この講義の目的は、講義内容を「覚える」ことではなく、講義を「理解」したうえで、自らと関連づけて「考察」できるようになることです。宿題はありませんが、日頃から社会に興味を持ち主体的に情報を収集し、社会の課題について自ら考えるように心がけてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは使用しません。参考文献は授業中に適宜紹介します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	社会システム分析設計					担当教員	和田 有朗
講義コード	1201610	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

地球温暖化問題は人々の社会経済活動と暮らしに密接な関係があり、温暖化防止のために暮らしと経済活動による低炭素社会の構築が求められている。そのための一つに環境負荷の多い都市や地域における人の移動を車からより環境負荷の低いモビリティへの転換が迫られている。環境負荷軽減への配慮から車の代替手段としての都市交通手段（短距離交通手段）として自転車利用が注目されている。欧米社会では一般になっている。この授業では低炭素社会に向けて「環境配慮型の自転車利用計画」の作成をテーマに現実社会システムを対象にして、それらを構成する各アイテム、要素を抽出し、それらを関連付け、それらに関わる現実社会をモデル化する。そのモデルを用いて課題を発見し、新たな対応の方法、アイテム、要素を含めたアイデアを創出する。具体的手法には、情報を集める方法、集めた情報からアイデアを生み出す手法（発想法）、企画を立てる手法（企画法）、表現する方法（図解表現法）、提案手法（プレゼンテーション手法）、これらのプロセスを総合化する手法などを実践的に体得する。

到達目標

- (1)様々な方法で情報を集め、アイデアを生み出すことができる（発想法）
- (2)問題意識に基づいて企画を立てることができる（企画法）
- (3)企画内容を図示化することができる（図解表現法）
- (4)説得力をともなって提案を行うことができる（プレゼンテーション法）

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)について25% 到達目標(2)について25% 到達目標(3)について25%

授業外学習

毎回の授業で課題提出を課す。授業中に完成しない場合は宿題となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	発想法入門	星野匡	日本経済新聞社	978-4532110772
2	企画の立て方	星野匡	日本経済新聞社	978-4532013806
3	問題解決手法の知識	高橋誠	日本経済新聞社	978-4532013417

前提学力等

履修資格

講義名	社会システム分析設計演習					担当教員	和田 有朗
講義コード	1201620	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

地球温暖化問題は人々の社会経済活動と暮らしに密接な関係があり、温暖化防止のために暮らしと経済活動による低炭素社会の構築が求められている。そのための一つに環境負荷の多い都市や地域における人の移動を車からより環境負荷の低いモビリティへの転換が迫られている。環境負荷軽減への配慮から車の代替手段としての都市交通手段（短距離交通手段）として自転車利用が注目されている。欧米社会では一般になっている。この授業では低炭素社会に向けて「環境配慮型の自転車利用計画」の作成をテーマに現実社会システムを対象にして、それらを構成する各アイテム、要素を抽出し、それらを関連付け、それらに関わる現実社会をモデル化する。そのモデルを用いて課題を発見し、新たな対応の方法、アイテム、要素を含めたアイデアを創出する。具体的手法には、情報を集める方法、集めた情報からアイデアを生み出す手法（発想法）、企画を立てる手法（企画法）、表現する方法（図解表現法）、提案手法（プレゼンテーション手法）、これらのプロセスを総合化する手法などを実践的に体得する。

到達目標

- (1)様々な方法で情報を集め、アイデアを生み出すことができる（発想法）
- (2)問題意識に基づいて企画を立てることができる（企画法）
- (3)企画内容を図示化することができる（図解表現法）
- (4)説得力をともなって提案を行うことができる（プレゼンテーション法）

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)について25% 到達目標(2)について25% 到達目標(3)について25%

授業外学習

毎回の授業で課題提出を課す。授業中に完成しない場合は宿題となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	発想法入門	星野匡	日本経済新聞社	978-4532110772
2	企画の立て方	星野匡	日本経済新聞社	978-4532013806
3	問題解決手法の知識	高橋誠	日本経済新聞社	978-4532013417

前提学力等

履修資格

講義名	社会システム分析設計・演習					担当教員	和田 有朗
講義コード	1201621	単位数	3	開講期	後期		
ナンバリング番号	212ETR301						

授業概要

地球温暖化問題は人々の社会経済活動と暮らしに密接な関係があり、温暖化防止のために暮らしと経済活動による低炭素社会の構築が求められている。そのための一つに環境負荷の多い都市や地域における人の移動を車からより環境負荷の低いモビリティへの転換が迫られている。環境負荷軽減への配慮から車の代替手段としての都市交通手段（短距離交通手段）として自転車利用が注目されている。欧米社会では一般になっている。この授業では低炭素社会に向けて「環境配慮型の自転車利用計画」の作成をテーマに現実社会システムを対象にして、それらを構成する各アイテム、要素を抽出し、それらを関連付け、それらに関わる現実社会をモデル化する。そのモデルを用いて課題を発見し、新たな対応の方法、アイテム、要素を含めたアイデアを創出する。具体的手法には、情報を集める方法、集めた情報からアイデアを生み出す手法（発想法）、企画を立てる手法（企画法）、表現する方法（図解表現法）、提案手法（プレゼンテーション手法）、これらのプロセスを総合化する手法などを実践的に体得する。

到達目標

- (1)様々な方法で情報を集め、アイデアを生み出すことができる（発想法）
- (2)問題意識に基づいて企画を立てることができる（企画法）
- (3)企画内容を図示化することができる（図解表現法）
- (4)説得力をともなって提案を行うことができる（プレゼンテーション法）

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)について25% 到達目標(2)について25% 到達目標(3)について25%

授業外学習

毎回の授業で課題提出を課す。授業中に完成しない場合は宿題となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	発想法入門	星野匡	日本経済新聞社	978-4532110772
2	企画の立て方	星野匡	日本経済新聞社	978-4532013806
3	問題解決手法の知識	高橋誠	日本経済新聞社	978-4532013417

前提学力等

履修資格

講義名	社会調査実習（環境政策）					担当教員	和田 有朗 / 平山 奈央子 / 村上 一真
講義コード	1201630	単位数	1	開講期	通年		
ナンバリング番号	312ETR301-C, 330SOC303, 335SOC320						

授業概要

本科目は、社会調査の企画から報告書の作成までを、個人もしくはグループで取り組むことによって、社会調査の全過程を理解できるように実習形式で実施する。調査の準備段階から、調査の実施、さらには調査報告書の執筆を体験することによって、実社会に出てからも社会調査に従事できるような技術を習得することを目的とする。社会調査のテーマ設定から綿密に指導し、現場での調査方法を詳しく説明する。インタビューやアンケートなどの調査手法は、調査対象者の属性の違いを踏まえて、各履修者が検討することになる。

到達目標

社会調査士の資格認定において最後の履修科目となる場合が多いので、社会調査について学べることの集大成を目指す。具体的には、(1)社会調査実施、(2)プレゼンテーション、(3)質疑応答、(4)調査報告書執筆、ができるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	(1)社会調査を実施し、分析・考察することができる 60% (4)調査報告書を執筆することができる 20%
上記以外	20	(2)レジュメを作成し、発表形式の報告ができる 15% (3)他の履修生の発表に対して、コメントを述べるができる 5%

授業外学習

授業時間以外に各自の社会調査について計画し、調査の実施および報告書の作成に従事する。調査の進行状況については随時、授業で報告してもらう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	社会調査の基礎—社会調査士A・B・C・D科目対応	篠原清夫, 榎本環, 大矢根淳, 清水強志	弘文堂	
2	社会調査へのアプローチ—論理と方法 第2版	大谷信介, 後藤範章, 永野武, 木下栄二, 小松洋	ミネルヴァ書房	
3				

前提学力等

地域調査法、地域調査法演習、基礎統計、応用統計学、応用統計学を受講していなければならない。

履修資格

講義名	社会調査実習（環境政策）					担当教員	和田 有朗 / 平山 奈央子 / 村上 一真
講義コード	1201630	単位数	1	開講期	通年		
ナンバリング番号	312ETR301-C, 330SOC303, 335SOC320						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス（調査目的と調査倫理の説明）	ガイダンス（調査目的と調査倫理の説明）
第2回	調査方法の説明（先行研究の参照、資料の扱い方）	調査方法の説明（先行研究の参照、資料の扱い方）
第3回	調査の企画と仮説の構成	調査の企画と仮説の構成
第4回	調査の項目の選定	調査の項目の選定
第5回	調査票の作成	調査票の作成
第6回	調査対象の設定（対象者および対象地域）	調査対象の設定（対象者および対象地域）
第7回	サンプリングの方法	サンプリングの方法
第8回	データ分析の方法	データ分析の方法
第9回	分析結果の表現方法	分析結果の表現方法
第10回	調査案の報告	調査案の報告
第11回	調査案の検討	調査案の検討
第12回	調査修正案の報告	調査修正案の報告
第13回	調査修正案の検討	調査修正案の検討
第14回	調査実習のスケジュール作成	調査実習のスケジュール作成
第15回	社会調査の準備	社会調査の準備
第16回	調査の実施（調査票の完成）	調査の実施（調査票の完成）
第17回	調査の実施（調査票の配布）	調査の実施（調査票の配布）
第18回	調査の実施（調査票への質問の対応）	調査の実施（調査票への質問の対応）
第19回	調査の実施（調査票の回収）	調査の実施（調査票の回収）
第20回	関係者への聞き取り	関係者への聞き取り
第21回	聞き取り調査のまとめ方	聞き取り調査のまとめ方
第22回	調査票の集計	調査票の集計
第23回	単純集計結果の検討	単純集計結果の検討
第24回	集計結果の統計分析	集計結果の統計分析
第25回	分析結果の検討	分析結果の検討
第26回	仮説の検証	仮説の検証
第27回	調査結果のまとめ	調査結果のまとめ
第28回	調査結果の報告	調査結果の報告
第29回	報告書の提出方法	報告書の提出方法
第30回	報告書の完成	報告書の完成
担当者から一言		

講義名	森林環境学					担当教員	野間 直彦
講義コード	1201790	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211STR211, 212PEL304, 214BRM283						

授業概要

森林環境を理解するために必要な基礎的な内容を講義する。地球上の気候・環境による各種森林タイプの分布、森林の構造・環境と維持機構、森林への人為の影響、森林に棲む生物とそれらの相互作用、など。

到達目標

- 1) 森林と環境の関係を理解するために必要な、現代の生態学・環境学の考え方の基本を身につける。
- 2) 気候・環境による森林の分布、森林の構造と維持機構、森林の生物とそれらの相互作用について理解する。
- 3) 森林への人為の影響について理解し、問題の解決について自らの考えを述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

必要に応じて課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1201930	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	312BTC401						

授業概要

「問題設定の方法」では、過去の卒業論文を評価することにより、研究という様式の理解とテーマ設定について学ぶ。「研究計画の設計」では、調べて、考えて、書いて、そしてまとめる、という一連の作業でもっとも軽視されがちなこの段階をめぐり、作業目的と作業方法との関連づけを再確認する。「分析と総合化の手順」では、文献資料および基礎的データのリサーチ方法の取得、その読み込みなどを行う。「総合化と見直し」では、問題設定と結論までの直線性と幅の確保に留意する。

到達目標

- (1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論の基礎について、積極的に学び、理解する。
- (2) 卒業研究の計画設計にむけた準備作業に取り組む。
- (3) 卒業研究の計画設計について、指導教員が指定する課題に取り組み、それを完成させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(2) 卒業研究の計画設計にむけた準備作業に取り組む。(35%) (3) 卒業研究の計画設計について、指導教員が指定する課題に取り組み、それを完成させる。(15%)
上記以外	50	(1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論の基礎について、積極的に学び、理解する。(50%)

課題への取り組み85%、課題内容15%

到達目標の

授業外学習

1クールの1つのミニレポートを提出する。演習全体が終了したのち、夏期の課題レポートを作成する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「社会調査」のウソーリサーチ・リテラシーのすすめ	谷岡一郎	文春新書	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1201940	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	312BTC402						

授業概要

前期の6月に、学生が指導を受けたい教員を選ぶ。学生の選択にもとづき、教員1人あたり数名の学生でゼミを構成する。研究室単位で、学生は指導を受ける。学生自ら調査したことを文章化してゼミのなかで発表し、それに対するコメントを受け、それに反論、再考察するというプロセスの繰り返しを通じて、学生は自らの研究テーマを発掘していく。学期の後半になると、学外において現地調査を始める学生が増えてくる。最後に、卒論着手発表会で成果を、パワーポイントを用いて発表する。

到達目標

- (1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論について、配属された研究室の専門分野の知識を理解し、積極的に学ぶ。
- (2) 卒業研究の着手発表会にむけた準備作業に取り組む。
- (3) 卒業研究着手発表会で、研究計画や進捗状況を発表する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) 卒業研究の計画設計にむけた方法論について、配属された研究室の専門分野の知識を理解し、積極的に学ぶ。(25%) (2) 卒業研究の着手発表会にむけた準備作業に取り組む。(25%)

卒論への取り組み 30% 発表形式 20% 発表内容 50%

内容の評価項目： テーマの独創性、 目的達成の可能性、 研究計画の具体性、 調査の進行度（自分の調査がなされているか）、発表の評価項目

授業外学習

ゼミでの報告と卒論着手発表会での報告

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

必要な参考文献は各ゼミで指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

必要な参考文献は各ゼミで指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 松本 健一 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1201950	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	412BTC401						

授業概要

研究は「問い」から始まる。それに答えることが研究に他ならない。専門的には、問いを仮説、答える行為を検証と呼んでいる。研究成果の独創性は、仮説の独創性で決まる。仮説をうまく設定して、その検証方法を示すことが研究方法の策定である。ゼミ単位で訓練を受けることにより、この作業の進め方が納得できるようになる。後半の時間で、自ら調査を進め、資料の収集、整理、解析を通して、自分の思考を開発していく。

到達目標

- 1) 自分が関心をもつ課題について、調査計画を立てることができる。
- 2) 仮説を解明していくために、調査等を通じて必要な資料を収集し、整理・分析することができる。
- 3) 資料の整理、分析によって、自分がたてた仮説を検証することができる。
- 4) 自分の仮説と検証のプロセスについて、人前で報告することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	1) 自分が関心をもつ課題について、調査計画を立てることができる。15% 2) 仮説を解明していくために、調査等を通じて必要な資料を収集し、整理・分析することができる。15% 3) 資料の整理、分析によって、自分がたてた仮説を検証することができる。50%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1201960	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	412BTC402						

授業概要

設定した仮説を検証するための対象・方法を選び、具体的な調査計画を立てる。また、調査によって得られた情報をどのように分析していくかについて、ゼミ単位の指導から学ぶ。これらの作業を進めることによって、自分が最初に抱いた「問い」に答えることができるだろう。それが、「結論」である。こうした、仮説から結論にいたる一連の流れを論文としてまとめあげる様式や表記方法についても学んでいく。

到達目標

策定した研究計画にもとづき、調査・分析等を実施し、研究を論文としてまとめられる。
 1) 自分の発表に対する質問やコメントをもとに、当初の仮説を再検討することができる。
 2) 仮説の再検討にもとづいて、必要な資料の収集・整理・分析をすることができる。
 3) 資料の整理・分析によって、修正された仮説を検証することができる。
 4) 仮説の設定から検証に至る研究プロセスを、論文としてまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	1) 自分の発表に対する質問やコメントをもとに、当初の仮説を再検討することができる。10% 2) 仮説の再検討にもとづいて、必要な資料の収集・整理・分析をすることができる。10% 3) 資料の整理・分析によって、修正された仮説を検証することができる。10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画基礎演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1201961	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	212BTC202						

授業概要

環境政策・計画分野では、社会との関わりの中で課題を発見し解決する力が求められる。本演習では、その基礎的な力として、文献をもとに自らの問題意識を明確化し、現場における調査に向けて問いを立てる力を養うことを目指す。この内容を通じて、社会とのかかわりの中にある環境政策・計画分野を体系的に把握するとともに、その調査の方法を習得し、より高度な演習や卒業研究の取り組みに向けた基礎を築く。

到達目標

- (1) 社会の現場における環境政策・計画分野の課題を把握し、問題を設定できるようになる。
- (2) 環境政策・計画分野の課題に関する文献にアクセスすることができるようになる。
- (3) 文献調査をし、レポートとしてまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	文献調査の経過報告(60%)と最終レポート(40%)により評価する。 到達目標の(1)については経過報告(20%)により、(2)については経過報告(40%)により、(3)については最終レポート(40%)により、それぞれ評価する。
上記以外		

授業外学習

文献調査と経過報告の準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策計画基礎演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1201962	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	212BTC203						

授業概要

本演習の目的は、卒業研究につながる問題関心を現場から発掘し、育てることである。具体的な作業としては、環境問題にかかわる2名以上の方（学外の方）にインタビュー調査を実施する。その上で、調査内容についてレポートとしてまとめ、またプレゼンテーションにより説明する。さらに、一連のプロセスにおいて、社会調査により卒業研究を実施するために必要な基礎知識を身につける。次年度の研究室配属に向けて、卒業研究につながる関心の種を各自で発掘・把握し、言語化できるようになることを目指す。

到達目標

- (1) 卒業研究につながる問題関心を発掘できるようになる。
- (2) 学外の方2名以上にアポイントを取り、インタビューできるようになる。
- (3) インタビュー内容をレポートとしてまとめられるようになる。
- (4) インタビュー内容をプレゼンテーションにより説明できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(3) : 30%
上記以外	70%	インタビュー調査の経過報告(50%) : 到達目標(1)20%, (2)30% 報告会でのプレゼンテーションと議論(20%) : 到達目標(4)20%

授業外学習

インタビュー調査と経過報告の準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて各ゼミで指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策形成・施設演習					担当教員	学科教員 / 井手 慎司 / 小野 奈々 / 香川 雄一 / 金谷 健 / 上河原 献二 / 高橋 卓也 / 林 宰司 / 平山 奈央子 / 村上 一真 / 和田 有朗
講義コード	1201970	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	112BTC102						

授業概要

学生が自分の進路を定めてそれを達成するために大学時代に何をなすべきか？ この命題への答えを見つけること、すなわち「自分の発見」が、この授業のねらいです。当学科の教員が1週ないし2週の演習を受け持ち、その中で教員の専門分野の最先端を講義・ディスカッションあるいは現場ツアーを通じて学生にやさしく伝達します。学生は各演習に出席した後、あらかじめ指示された課題に関するレポートを1週間以内に提出する。このような作業の繰り返しを通じて次第にアイデンティティが形成されます。

到達目標

学生は自分の進路を定め、それに必要とされる能力を身につける方法を見出す。具体的には、(1)環境政策の現場に触れ、また環境関連の職業従事者の話を聞き、その実際を理解できる、(2)環境問題とその解決方法について考え、それをレポートにまとめる能力を高める、(3)自身の進路について考え始める。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標の(1)～(3)それぞれについて、 学外現場演習レポート・報告：10 + 10 = 20点満点 最終レポートA・B：5点 × 2 = 10点満点
上記以外	70%	到達目標の(1)～(3)それぞれについて、 第1～14回：各回5点満点（5点満点 × 14回 = 70点満点）

授業外学習

レポート提出（第1～14回）、学外現場演習レポート提出・報告（第15回）、最終レポート（2種類）提出。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし（資料配布）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政策形成・施設演習					担当教員	学科教員／井手 慎司／小野 奈々／ 香川 雄一／金谷 健／上河原 献二／ 高橋 卓也／林 宰司／平山 奈央子／ 村上 一真／和田 有朗
講義コード	1201970	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	112BTC102						

[illegible]

講義名	政治学					担当教員	望月 詩史
講義コード	1201980	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212PEL301, 235LAH304						

授業概要

本講義では「政治学の世界」をテーマに、「政治」とは何であり、「政治学」とはどのような学問であるのかについて考えていきたい。そして政治学の各分野を取り上げながら、政治現象をどのような観点から分析しているのかについて詳しく見ていく。

政治というと、議員や議事を思い浮かべる人が多い。確かに政治における重要なアクターであることは事実だが、決してそれらの専有物ではない。好むと好まざるとに関わらず、政治は私たちの日常生活と密接不可分の関係にある。そこで政治に係わる時事問題も積極的に取り上げていきたい。

政治学を学ぶ上で大切なのは、第一に政治現象に対する問題意識を持つこと、第二に過去と未来への視座を含みながら現在を考えることである。本講義は、こうした問題意識や思考を養う機会としたい。

本講義の内容は、公務員試験（教養試験「社会科学（政治）」や専門試験「政治学」）にも対応しているので、同試験の受験を考えている学生は積極的に受講してもらいたい。

到達目標

- (1) 「政治」、「政治学」とはどのような現象、学問であるのかを理解することができる。
- (2) 政治現象に対する問題意識を持つことができる。
- (3) 過去と未来への視座を含みながら現在を考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標(1)(2)(3)について、論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

- (1) 授業内容をテキストの該当箇所を読んで復習すること。
- (2) 新聞やニュースに目を通して政治に係わる時事問題に関心を持つこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ファンダメンタル政治学 [増補改訂版]	等松春夫監修・竹本知行、尾崎庸介編	北樹出版	9784779303678
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政治学（国際政治を含む）					担当教員	望月 詩史
講義コード	1201990	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212PEL305, 235LAH305						

授業概要

本講義では、政治思想と国際政治を取り上げる。
 政治思想では、古代から近代までの各時代を代表する思想家や知識人に焦点を当てながら、主要な政治思想を取り上げる。「○○主義」という政治概念が頻繁に登場するが、できる限り具体的な中身を明らかにしていきたい。なぜならば、その意味内容が時代ごとに変化するのはもちろん、同時代においても相違が見られるからである。
 国際政治では、国内政治との共通点・相違点について考えていきたい。特に後者を明らかにするために、国際政治の成り立ち（歴史）、国際社会における政治現象を分析する枠組み、そして今日的課題（テロリズム、核、環境問題など）を取り上げる。
 これらのテーマの理解度を高めるには、具体的な政治現象と関連付けて考えることが望ましい。したがって、政治に係わる時事問題も積極的に取り上げていく。
 政治学を学ぶ上で大切なのは、第一に政治現象に対する問題意識を持つこと、第二に過去と未来への視座を含みながら現在を考えることである。本講義は、こうした問題意識や思考を養う機会としたい。
 本講義の内容は、公務員試験（教養試験「社会科学（政治）」や専門試験「政治学」）にも対応しているので、同試験の受験を考えている学生は積極的に受講してもらいたい。

到達目標

- （１）現在の価値観を前提とせず歴史的に政治思想を理解することができる。
 （２）国際政治と国内政治の共通点・相違点を理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	到達目標（１）（２）について、論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

- （１）授業内容をテキストの該当箇所を読んで復習すること。
 （２）新聞やニュース等に毎日目を通して政治に係わる時事問題に関心を持つこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ファンダメンタル政治学 [増補改訂版]	等松春夫監修・竹本知行、尾崎庸介編	北樹出版	9784779303678
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究（環境政策・計画）					担当教員	学科教員／井手 慎司／小野 奈々／ 香川 雄一／金谷 健／上河原 献二／ 高橋 卓也／林 宰司／平山 奈央子／ 村上 一真／和田 有朗
講義コード	1202440	単位数	6	開講期			
ナンバリング番号							

授業概要

卒業研究I・IIを参照してください。

到達目標

卒業研究I・IIを参照してください。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究（環境政策・計画）					担当教員	学科教員／井手 慎司／小野 奈々／ 香川 雄一／金谷 健／上河原 献二／ 高橋 卓也／林 宰司／平山 奈央子／ 村上 一真／和田 有朗
講義コード	1202441	単位数	3	開講期			
ナンバリング番号	412BTC403						

授業概要

卒業論文作成に指導教員の指導を受けつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、オリジナリティ（新規性・独創性）、有用性（利用できるか）、論理性（論理が整然としているか）、完結性（論文として完成しているか）でまら。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。（2015（平成27）年度より開講）

到達目標

- (1) 学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過ごした証＝人類の知に新たな知を追加したことを作ること
(2) 学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何かを知ること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標を卒業論文で評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究（環境政策・計画）					担当教員	学科教員／井手 慎司／小野 奈々／ 香川 雄一／金谷 健／上河原 献二／ 高橋 卓也／林 宰司／平山 奈央子／ 村上 一真／和田 有朗
講義コード	1202442	単位数	3	開講期			
ナンバリング番号	412BTC404						

授業概要

卒業論文作成に指導教員の指導を受けつつ挑んでいく。卒業論文の評価は、オリジナリティ（新規性・独創性）、有用性（利用できるか）、論理性（論理が整然としているか）、完結性（論文として完成しているか）できる。分析方法として多変量解析やGISなどを習得する。（2015（平成27）年度より開講）

到達目標

- (1) 学生が人生のある時期を環境政策・計画学科で四年間過ごした証＝人類の知に新たな知を追加したことを作ること
(2) 学ぶとはどういうことなのか、学びの楽しさとは何かを知ること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標を卒業論文で評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各研究室で指示する

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究（環境政策・計画）					担当教員	学科教員／井手 慎司／小野 奈々／ 香川 雄一／金谷 健／上河原 献二／ 高橋 卓也／林 宰司／平山 奈央子／ 村上 一真／和田 有朗
講義コード	1202442	単位数	3	開講期			
ナンバリング番号	412BTC404						

[illegible]

講義名	地域開発論					担当教員	平山 奈央子
講義コード	1202550	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212ETC303, 214BRM294						

授業概要

地域が抱える問題が深刻化し、看過できなくなった段階において公共部門による地域政策が生み出される。この地域政策に沿って実施されるのが「地域開発」である。本講義では、地域開発に関する概論を踏まえた上で、日本の地域開発の展開について学ぶ。さらに、具体的な地域開発の事例について、地域を構成する場所や人の変化に着目し、その時代に着目されていた課題の整理とそれに対して地域政策が何を実施し、その結果どのような功罪があったのか、という地域開発ストーリーを紐解く。特に今後の地域開発のあり方を考察するために、地域のガバナンスの在り方やソーシャルキャピタルの形成についても学ぶ。

到達目標

1. 地域開発の理論と歴史について理解できる
2. 地域開発政策の実態とその功罪を理解できる
3. 今後の地域開発のあり方について考察できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	最終レポート
上記以外	60%	小レポート（毎回実施）

レポートは提出が遅れた場合は採点しない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域環境政策論					担当教員	香川 雄一
講義コード	1202580	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM212, 212ETC304						

授業概要

環境問題は時代と地域によってさまざまなパターンで発生する。したがって過去の環境政策も具体的な問題に応じて実施されてきた。本授業ではとくに地域や時期による環境政策の違いをいくつかの具体例を紹介しながら説明していく。また環境政策の効果と課題を時代の変遷から眺めていく。具体例では国内の代表的な事例と身近な地域の事例を取り上げることにした。環境政策の理論と環境計画の現実を実際の経験から学んでもらいたい。

到達目標

- ・環境問題が発生した地域の概要を説明することができる。
- ・日本における環境問題の歴史的発生パターンを理解することができる。
- ・地域における環境政策の成果と課題について検討することができる。
- ・対象地域を設定して、環境問題の原因・発生過程・対策・課題を批判的に論述することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	・対象地域を設定して、環境問題の原因・発生過程・対策・課題を批判的に論述することができる（予告プレゼンテーションを含む）。（50%）
上記以外	50	・環境問題が発生した地域の概要を説明することができる。（25%） ・日本における環境問題の歴史的発生パターンを理解することができる。（15%） ・地域における環境政策の成果と課題について検討することができる。（10%）

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。

授業外学習

授業内容の予習に関するレポート、授業の理解度を問う課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

日本の地誌を理解しておくことが望ましい。

履修資格

講義名	地域再生システム論					担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1202610	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	112PEL205						

授業概要

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主体的に取組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。

- 1) 夏期3日間の集中講義として行う(2016年度は9月17日、18日、24日を予定。フィールドワークはこのうち1日)。
- 2) 学生、院生(社会人学生含む)混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。
- 3) フィールドワーク先や課題は地域の行政等から紹介・提起を受け、ホットでリアルなフィールドや課題に挑む。
- 4) 地域住民や市民団体、地域の行政職員等、地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。

到達目標

- (1) 様々な地域再生事業の概要及び実施手法について理解し説明できる。
- (2) フィールドワークやワークショップによって地域の現状と課題についての的確に把握し整理することができる。
- (3) 地域課題・地域再生に資する事業を企画し提案することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)については中間レポート(30%)により、(2)(3)(4)については最終レポート(50%)及びプレゼンテーション(20%)により評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域再生 滋賀の挑戦 エコな暮らし・コミュニティ再生・人材育成	近江環人地域再生学座編	新評論	
2	地域診断法 鳥の目、虫の目、科学の目	近江環人地域再生学座編	新評論	
3	近江楽座のススメ - 学生力で地域が変わる	近江楽座学生委員会編著	ラトルズ	

前提学力等

履修資格

講義名	地域システム論					担当教員	和田 有朗
講義コード	1202640	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	112ETC201-C						

授業概要

地域システム論は人間や人間集団および生活や生産活動の空間、広がりを対象とするが、それらはひとつに統合された主体・広くは環境系という様々な主体間のつながりをもつシステムをなしている。人間の生活や様々な団体・組織の活動とその環境を統合して全体を地域とみなし、その成り立ちと機能を明らかにしていく。国や地方の地域の状態、地域政策のあり方、地域政策の問題点、今後の課題と方向について、事例等を交えて講義する。人間を中心とする自然的、経済的、社会的な複合体を対象とする。

到達目標

- (1)大都市圏からコミュニティに至る各空間スケールでの地域の成り立ちと機能を理解できる。
- (2)各空間スケールに対応した地域問題の性格とそれへの対応策を理解できる。
- (3)地域のガバナンスにおいて重要な役割を果たす自治体の性格と機能を説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	授業中に課すレポート 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について20%
上記以外		

授業外学習

授業期間中にミニレポートを課す。授業中に毎回演習問題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図説 21世紀日本の地域問題	伊藤喜栄・藤塚吉浩編	古今書院	978-4772241243
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域調査法					担当教員	香川 雄一
講義コード	1202660	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	112BTC201, 114BRM196						

授業概要

地域調査と社会調査についての基本的事項を学習する。フィールドワークのための基礎知識を習得することが目的である。社会調査についての歴史や意義を理解するとともに、調査方法の基礎と注意事項について説明する。調査の種類について質的調査と量的調査があることを学んだ後に、それぞれの具体的なデータについて例示しながら紹介していく。さらに資料やデータの収集から分析に至るまでにどのようなプロセスが必要になるのかを理解していく。

到達目標

- ・地域調査のために、適切な資料を集めることができ、それらの説明をすることができる。
- ・地域で発生する問題から、地域調査のために必要なキーワードを導き出すことができる。
- ・身近な地域について関心を持ち、調査すべき課題を見つけ出すことができる。
- ・地域調査を準備するために、具体的で実現可能性のある調査計画を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	地域調査を準備するために、具体的で実現可能性のある調査計画を作成することができる。
上記以外	50	・地域調査のために、適切な資料を集めることができ、それらの説明をすることができる。(20%) ・地域で発生する問題から、地域調査のために必要なキーワードを導き出すことができる。(15%) ・身近な地域について関心を持ち、調査すべき課題を見つけ出すことができる。(15%)

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。

授業外学習

授業の理解度を問う課題を出す。地形図の購入や統計書の検索を課すことがある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジオ・パル NEO	野間晴雄ほか編	海青社	9784860992651
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ガイドブック社会調査 第2版	森岡清志編著	日本評論社	9784535582460
2				
3				

前提学力等

調査法についての文献が読めること

履修資格

講義名	地域調査法演習					担当教員	香川 雄一
講義コード	1202670	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	112BTC202-C						

授業概要

実際に地域調査や社会調査を扱っている研究例から調査の実施方法を学んでいく。さまざまな資料やデータがどのようにして収集され、分析されているのかを具体的に解説する。先行研究例にならって、調査目的や調査方法の決め方、調査企画と調査設計の作り方について習得していく。調査方法に関しては、準備から実施、分析に至る前の過程をサンプリング方法やデータのコーディング方法にも触れつつ具体的に説明する。インタビューの仕方やフィールドノートの作成方法についても解説する。

到達目標

- ・地域調査の準備について、目的・方法・企画・地域概要の説明をすることができる。
- ・地域調査の実例を学ぶために、グループワークによって先行調査の内容を報告することができる。
- ・適切な調査対象の選択と、サンプリングの方法について理解することができる。
- ・地域調査を準備するために、具体的な対象を想定した質問調査票を作成することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	地域調査を準備するために、具体的な対象を想定した質問調査票を作成することができる。
上記以外	50	・地域調査の準備について、目的・方法・企画・地域概要の説明をすることができる。(10%) ・地域調査の実例を学ぶために、グループワークによって先行調査の内容を報告することができる。(30%) ・適切な調査対象の選択と、サンプリングの方法について理解することができる。(10%)

100点満点で採点し、60 点以上を合格とする。

授業外学習

調査を準備するための宿題を出す。グループ別に授業時の作業課題を出す。個人別にアンケート調査票を作成する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	地域調査ことはじめ	梶田 真他編	ナカニシヤ出版	9784779501326
2	新・社会調査へのアプローチ	大谷信介他編著	ミネルヴァ書房	9784623066544
3				

前提学力等

地域調査法を受講していること

履修資格

講義名	地球環境システム論					担当教員	松本 健一
講義コード	1202710	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	211FFM213, 212ETC307, 214BRM286						

授業概要

われわれが日常生活を営む社会経済システムは自然環境や生態系と密接に結びついている。今日の環境問題は、そのような人間活動による過度な環境利用が大きな原因となっている。本講義では、現代社会の最重要課題の1つである地球環境問題を多面的に検証することにより、環境・環境問題を理解する。そして、地球環境問題の解決と持続可能な社会の構築に向けた方策を考えるための能力を養う。

キーワード：地球環境問題、環境政策、社会経済と環境、持続可能な発展

到達目標

- (1) 地球環境問題とその対策（政策）についての基本的な知識を習得する。
- (2) 地球環境問題とその対策（政策）について、自ら情報収集・考察できるようになる。
- (3) 地球環境問題の解決（持続可能な社会）に向けた方法論を論理的に考察できるようになる。
- (4) 自ら考察した方法論を、レポートとして体系的にまとめることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	最終レポートにより到達目標(3) (30%) と(4) (20%) を評価する。
上記以外	50%	レスポンスペーパーにより到達目標(1) (10%) を評価する。テスト（合計40%）により到達目標(1) (20%) と(2) (20%) を評価する。

欠席が4回以上になると評価対象としない（20分以上の遅刻は欠席とみなす）。なお、出席はレスポンスペーパーの提出による予定である。

授業外学習

毎回の授業でレスポンスペーパーの提出を求めるので、それを利用して授業の復習をすることが望ましい。
授業中テストを実施する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

授業中に資料を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	動物生態学					担当教員	高倉 耕一
講義コード	1202750	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	312PEL305, 214BRM262						

授業概要

生物社会における個体・個体群・群集の各階層における現象を取り扱う行動生態学・個体群生態学・群集生態学を概観し、生態現象をもたらす維持しているメカニズムとそのプロセスについて講義する。生物群集の成立要因として議論されている仮説について、最近の論争を含めて紹介する。

到達目標

- (1) 進化的生物学的な視点から、動物の行動およびその他の形質の適応進化をもたらすメカニズムについて理解し、それにもとづいて生物現象を説明したり仮説を立てたりすることができる。
- (2) 個体群生態学における基本的な数理モデルについて理解し、それらの性質および解析法について説明することができる。また、現実の現象との関連についても説明することができる。
- (3) 群集生態学における基本的な数理モデルについて理解し、それらの性質および解析法について説明することができる。また、現実の現象との関連、および最新の仮説についても説明することができる。
- (4) 動物生態学における研究法・調査法の基礎について理解し、それぞれの適用可能性と限界について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	与えられた課題に対して、適切な資料を検索・引用できる能力、それを読み解き説得力のある議論を展開できる能力を問う。
上記以外	50	5～6回のミニテストを行い、前回、前々回講義の理解度を問う。

授業外学習

レポート課題を課す

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生態学—個体から生態系へ	Begonほか	京都大学学術出版会	9784876985791
2	動物生態学	嶋田 正和ほか	海游舎	9784905930464
3				

前提学力等

履修資格

講義名	廃棄物管理論					担当教員	金谷 健
講義コード	1202950	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	312ETC301						

授業概要

この授業では、廃棄物管理についての基礎知識、具体的には、廃棄物問題の歴史、廃棄物処理の法律、廃棄物のリサイクル、廃棄物の処理、処理施設への住民意識、処理コストなどについて講義する。次に受講生は、各自が興味あるテーマについて調査し発表・レポートする（グループまたは個人）。このように、講義を聴くことと、自分で調べて発表・質疑すること、この両面を行うことで廃棄物管理についての理解をより深めることを、ねらいとしている。

到達目標

- (1) 廃棄物を適正に管理するために必要な基礎的事項を、説明できること。
- (2) 廃棄物管理において各自が興味あるテーマについて、調査目的・調査方法・調査結果および考察・結論を明確にした、調査・発表・質疑をできること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標(1)については、中間ふりかえりの結果で評価する(50%)。 到達目標(2)については、調査・発表・質疑を前提として、質疑での指摘(教員+受講者)への対応表、修正パワーポイントの事情(病気等)がない限り、5回以上欠席した者は、評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ごみ問題の総合的理解のために	松藤敏彦	技報堂出版	4765534235
2				
3				

初回から、教科書を持っていることを前提に授業を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特にないが、後半の学生発表は、パワーポイントで行う。

履修資格

講義名	ファシリテーション技法					担当教員	平山 奈央子
講義コード	1203050	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

ファシリテーションとは、集団による問題解決、アイデア創造などの現場において、それらの話し合いをスムーズにそして創造的に進むように意見や想いの交通整理をすることを意味する。このファシリテーションの方法によって、話し合いから生み出される成果や参加者の納得度・満足度が大きく異なる。そのため、ファシリテーションには技（技術）と頭（思考）と心（心構え）が必要である。

この授業では、前半は、「場のデザインのスキル」「対人関係のスキル」「構造化のスキル」を段階的に学び、意見を引出し、収束させるまでのファシリテーションについて実践できる状態にする。

後半は、より難易度の高い「合意形成のスキル」について、模擬的に設定された対立の「場」で実践的に学ぶ。

本講義で身に付けたファシリテーションの基礎を独自のスキルとして確立することで、行政の計画作りや地域課題解決のための様々な活動において多様な主体の参画のために応用することができる。

到達目標

- (1) ワークショップを企画することができる（場のデザインのスキル）30%
- (2) 意見を引出し、自分の言葉で整理することができる（対人関係のスキル）30%
- (3) 話し合いの内容を可視化することができる（構造化のスキル）30%
- (4) コンフリクトを調整することができる（合意形成のスキル）10%

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	ファシリテーションスキル
レポート課題	20	課題
上記以外	50	ワークの取り組み

授業外学習

ファシリテーションが必要な現場は多くあります。自分自身の活動の中から積極的に現場を探し、実践することを勧めます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ファシリテーション技法演習					担当教員	平山 奈央子
講義コード	1203060	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号							

授業概要

ファシリテーションとは、集団による問題解決、アイデア創造などの現場において、それらの話し合いをスムーズにそして創造的に進むように意見や想いの交通整理をすることを意味する。このファシリテーションの方法によって、話し合いから生み出される成果や参加者の納得度・満足度が大きく異なる。そのため、ファシリテーションには技（技術）と頭（思考）と心（心構え）が必要である。

この授業では、前半は、「場のデザインのスキル」「対人関係のスキル」「構造化のスキル」を段階的に学び、意見を引出し、収束させるまでのファシリテーションについて実践できる状態にする。

後半は、より難易度の高い「合意形成のスキル」について、模擬的に設定された対立の「場」で実践的に学ぶ。

本講義で身に付けたファシリテーションの基礎を独自のスキルとして確立することで、行政の計画作りや地域課題解決のための様々な活動において多様な主体の参画のために応用することができる。

到達目標

- (1) ワークショップを企画することができる（場のデザインのスキル）30%
- (2) 意見を引出し、自分の言葉で整理することができる（対人関係のスキル）30%
- (3) 話し合いの内容を可視化することができる（構造化のスキル）30%
- (4) コンフリクトを調整することができる（合意形成のスキル）10%

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	ファシリテーションスキル
レポート課題	20	課題
上記以外	50	ワークの取り組み

授業外学習

ファシリテーションが必要な現場は多くあります。自分自身の活動の中から積極的に現場を探し、実践することを勧めます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ファシリテーション技法・演習					担当教員	平山 奈央子
講義コード	1203061	単位数	3	開講期	後期		
ナンバリング番号	112ETR201-C						

授業概要

ファシリテーションとは、集団による問題解決、アイデア創造などの現場において、それらの話し合いをスムーズにそして創造的に進むように意見や想いの交通整理をすることを意味する。このファシリテーションの方法によって、話し合いから生み出される成果や参加者の納得度・満足度が大きく異なる。そのため、ファシリテーションには技（技術）と頭（思考）と心（心構え）が必要である。

この授業では、前半は、「場のデザインのスキル」「対人関係のスキル」「構造化のスキル」を段階的に学び、意見を引出し、収束させるまでのファシリテーションについて実践できる状態にする。

後半は、より難易度の高い「合意形成のスキル」について、模擬的に設定された対立の「場」で実践的に学ぶ。

本講義で身に付けたファシリテーションの基礎を独自のスキルとして確立することで、行政の計画作りや地域課題解決のための様々な活動において多様な主体の参画のために応用することができる。

到達目標

- (1) ワークショップを企画することができる（場のデザインのスキル）30%
- (2) 意見を引出し、自分の言葉で整理することができる（対人関係のスキル）30%
- (3) 話し合いの内容を可視化することができる（構造化のスキル）30%
- (4) コンフリクトを調整することができる（合意形成のスキル）10%

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	ファシリテーションスキル
レポート課題	20	課題
上記以外	50	ワークの取り組み

授業外学習

ファシリテーションが必要な現場は多くあります。自分自身の活動の中から積極的に現場を探し、実践することを勧めます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）					担当教員	坂田 雅夫
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	212PEL302, 235LAH303, 137ILA103						

授業概要

この授業では法律に関する基本知識を講義します。隣の人が自分の家の壁を壊した。怒って訪問しても、のりくらりとして、金を払うどころか、謝りさえしない。訴えてやりたいけど、どうすれば良いのか。ある朝、家にいきなり警察が来て、心当たりがないことで、逮捕された、自分はどうかになってしまうのか。こういった、本当は余り身近に来てほしくないけど、運が悪ければいつかやってくる厄介ごと。皆さんが思い浮かべる法律とは、こうした問題にからむものばかりでしょう。もちろん、こういう問題もこの授業では取り上げます。それ以外にも法律は、皆さんの日常生活にいろいろと深く結びついています。ニュース、街角、そして日常生活でみるいろいろな問題や単語が法律と結びついているんだと理解してもらえるのがこの授業の目標です。

到達目標

- (1) ニュースで出てくる法律関係の用語を理解できるようになる。
- (2) 公務員試験の法律・政治学関係の問題への基礎的知識を習得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

初回講義時に指示

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『判例法学〔第5版〕』	西村健一郎、西井正弘	有斐閣	9784641184046
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	水環境政策論					担当教員	井手 慎司
講義コード	1203150	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM208, 212ETC308, 214BRM296						

授業概要

琵琶湖や日本における水環境問題の現状や課題、歴史、保全に取り組んできた行政施策と住民運動の変遷を中心に解説しながら、琵琶湖および国内、世界的な水環境問題の今後の解決にむけた方途について考えていく。毎回、質問書を配付・回収し、講義に関する質問や疑問について翌週に答えていく予定である。

到達目標

- (1) 琵琶湖における水環境問題の現状や課題、歴史を説明できる。
- (2) 日本における水環境に関する行政施策の変遷を説明できる。
- (3) 琵琶湖や日本における水環境の保全に関する住民運動の変遷を説明できる。
- (4) 琵琶湖および国内外の水環境問題の今後の解決にむけた方途について自らの考えを述べることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	到達目標で示す(1)(2)(3)については定期試験(30%:(1)10%、(2)10%、(3)10%)、(4)については定期試験(5%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	65	到達目標で示す(1)(2)(3)については、小テスト(45%:(1)15%、(2)15%、(3)15%)と課題(15%:(1)5%、(2)5%、(3)5%)、(4)については、課題(5%)で評価する。

課題を2回出す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回プリントを配付

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

